

# 活動テキスト

宿泊・日帰りのグループ（団体）様用  
活動プログラム参考資料



広島市似島臨海少年自然の家



# もくじ



## 海洋学習

ローボート操船実習	1
海力ヌー漕艇実習	2

## プールカヌー

カヌー体験学習 (プールカヌー)	3
------------------	---

## 登山

登山	4
安芸小富士 登山道マップ	5
下高山 登山道マップ	6
外方の浜 登山道マップ	7

## フィールドゲーム

ウォークラリー	8
チャレンジ日本一周	14
ポイントラリー	17
ナイトオリエンテーリング	19
ディスクゴルフ	21
グラウンドゴルフ	23

## 創作活動

カプラを使った積み木遊び	25
クubb (kubb) 体験	27

## クラフト

はし	29
コップ	30
けん玉	31
竹とんぼ	32
一輪ざし	33
しおり	34
ティッシュアート	35
焼き杉	36
プラ板	37

## バウムクーヘンづくり

バウムクーヘンづくり	38
------------	----

## 平和学習

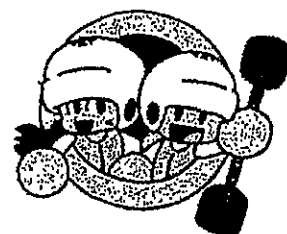
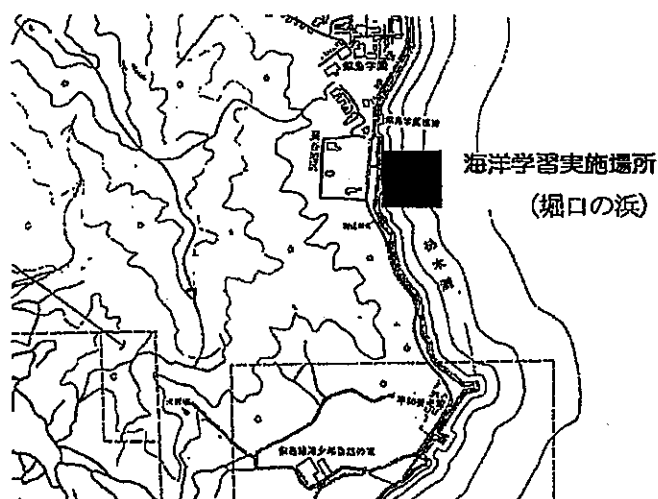
平和学習 (スライドまたはDVDによる学習、遺構めぐりなど)	40
--------------------------------	----

# ローボート操船実習

広島市似島臨海少年自然の家（以下、「自然の家」と表記する）近隣の海浜を使用して、ローボートの操船実習を行います。

ローボートの操船に必要な知識と技術を習得するとともに、各自の役割を確実に果たすことの重要性や、力を合わせることによって仲間と協力することの大切さを確認できます。グループ活動にお役立てください。

- 1 対象 小学生以上（4年生以上が望ましい）※ 学校、社会教育団体等、教育目的利用に限ります。レジャー目的での利用はできません。
- 2 実施期間 4月～11月
- 3 実施時間 午前9時～午前11時（準備・片付けを除く）
- 4 実施場所



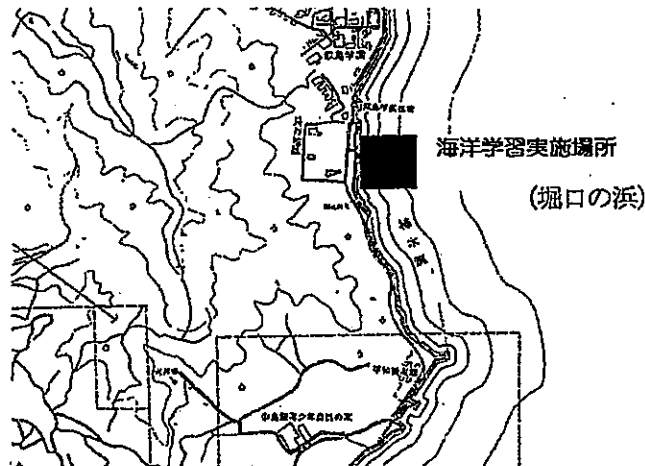
- 5 定員 130人程度（8人乗り×8艇 2交代で乗船）※コロナ対応制限中は7人
- 6 費用 無料
- 7 服装
  - ① 動きやすく濡れてもよい服
  - ② 濡れてもよい靴
  - ③ 帽子
- 8 実施方法
  - ① 模擬操船・・・実施前日までに自然の家にて練習（夜間の指導不可）
  - ② 実習当日の準備・・・8：50までに準備
  - ③ 実習海岸までの移動・・・監視艇、救助艇、ローボート等の運搬・移動
  - ④ 海岸での準備・・・ローボート準備、服装・体調等のチェック等
  - ⑤ 操船・・・1班3回程度
  - ⑥ 後片付け・・・ローボート等を台車に載せて自然の家まで移動  
⇒ライフジャケット、ローボート、パドル等を洗って所定の場所に干してください。
- 9 実施上の注意
  - ① 代表者が事前に自然の家が主催する施設利用団体研修会に参加する、もしくは、事前に他団体の海洋学習（ローボート）を見学することが必要になります。
  - ② 乗船時は必ずライフジャケット（救命胴衣）を着用してください。
  - ③ 靴下を着用してください（素足、サンダルでの活動は不可とします）。

※詳細は別紙「海洋学習ローボート操船実習マニュアル」をご覧ください。

# 海カヌー漕艇実習

自然の家近隣の海浜を使用して、カヌーの漕艇実習を行います。  
 海洋におけるカヌーに関する基本的な知識と技術を習得することにより、カヌーの特性を理解し、状況に応じた的確な判断力や行動力が身につきます。また、個人及び仲間に対する安全意識や協調性を養います。

- 1 対象 小学生以上（学校、社会教育団体等教育目的利用に限ります）  
 ※レジャー目的での利用はできません。
- 2 実施期間 4月～6月、9月～11月 ※但し、遊泳期間をのぞく。
- 3 実施時間 午前9時～午前11時（準備・片付けを除く）
- 4 実施場所



- 5 定員 48人（最大カヌー漕艇人数16人 2人乗り4艇・1人乗り8艇）
- 6 費用 カヌー使用料（100円/1艇）
- 7 服装 ① 動きやすく濡れてもよい服  
 ② 濡れてもよい靴  
 ③ 帽子
- 8 実施方法 ① 模擬操艇・・・・・・自然の家海水プールにて実施前日までにプールカヌーにて練習  
 ② 実習当日の準備・・・・・・8：50までに準備  
 ③ 実習海岸までの移動・・・・監視艇、救助艇、カヌー等の運搬・移動  
 ④ 海岸での準備・・・・カヌー準備、服装・体調等のチェック等  
 ⑤ 漕艇  
 ⑥ 後片付け・・・・・・カヌー等を台車に載せて自然の家まで移動  
 ⇒ライフジャケット、カヌー、パドル等を洗って所定の場所に干してください。
- 9 実施上の注意 ① 事前学習として、当自然の家海水プールにおいて基本学習及び実習を2時間以上行ってください。事前学習では、プール使用料（入場料 大人490円、小人250円）及びカヌー使用料（100円/艇）が別途必要となります。  
 ② 乗艇時は必ずライフジャケット（救命胴衣）を着用してください。  
 ③ 靴下を着用してください（素足、サンダルでの活動は不可とします）。

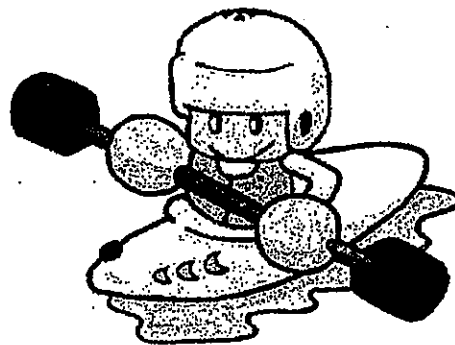
※詳細は別紙「海洋学習カヌー漕艇実習マニュアル」をご覧ください。

# カヌー体験学習 (プールカヌー)

当自然の家海水プールを使用して、カヌーの漕艇実習を行います。

カヌーに関する基本的な知識と技術を習得することにより、カヌーの特性を理解し、的確な判断力と俊敏な動作が身につきます。また、個人及び仲間に対する安全意識や協調性を養います。

- 1 対象 小学生以上 (成人の引率者の随行必要)
- 2 実施期間 4月～6月、9月～11月
- 2 実施時間 午前9時～午後4時 (海水プールへの入場は午後3時半までです。午後4時20分までには退室してください)
- 3 実施場所 自然の家海水プール
- 4 定員 60人 (最大カヌー漕艇人数20人 2人乗り5艇・1人乗り10艇)
- 5 費用 ① プール使用料 (入場料 大人490円、小人250円)  
② カヌー使用料 (100円/艇)
- 6 服装 動きやすく濡れてもよい服
- 7 実施方法 ① 準備  
② プール指導員による指導等  
③ 漕艇  
④ 後片付け・ライフジャケット、ヘルメット等を所定の場所に戻してください。
- 8 実施上の注意 ① 更衣は、日帰り利用団体は更衣室で行い、宿泊利用団体は原則として宿泊棟またはキャンプ場で行ってください。  
② カヌー等の準備・片付けは、指導員の指導のもと団体で行ってください。  
③ カヌー漕艇に関するオリエンテーションや準備運動、漕艇指導等については、指導員が指導します。  
④ 引率者の方は、プールサイドでの監視をお願いします。  
⑤ 乗艇時は必ずライフジャケット (救命胴衣) とヘルメットを着用してください。  
⑥ プールサイドは原則裸足です。



# 登 山

**安芸小富士** あきこふじ 標高が278mあり、市内・県内からもたくさんの人が登山を楽しんでいます。山頂で40～50人程度が集まってお弁当を食べることができます。山頂からは、広島市街を見渡すことができます。

**下高山** しもたかやま 標高が203mあり、山頂は広々としており50～60人程度がお弁当を食べられることができます。北側には安芸小富士と広島市街、南側には江田島など、東側には呉市の灰が峰山や野呂山、西側には宮島等が見えます。また、瀬戸内海に浮かぶイカダを見ることもでき、360度の眺めが楽しめます。

**外方の浜** げほうの浜 短時間での登山ですが、傾斜はかなりきつく、上り下りに自然の家が設置したロープをたよりに進む場所もあります。下った先には、きれいな砂浜が広がっています。

## 1 所要時間 ① 安芸小富士(展望台)コース

自然の家 → 展望台 → 山頂 → 自然の家  
 5分                      45分                      45分

## ② 下高山(似島峠～中学校)コース ※ 中学校側からも登ることができます。

<往路：中腹コース 往路：海沿いコース>

自然の家 → 登山道入口 → 山頂 → 中学校 → 自然の家  
 15分                      50分                      40分                      15分

<往路：尾根コース 復路：海沿いコース>                      往復1時間半程度

自然の家 → 登山道入口 → 山頂 → 中学校 → 自然の家  
 15分                      35分                      40分                      15分

## ③ 外方の浜コース

自然の家 → 登山道入口 → 外方の浜 → 自然の家  
 20分                      20分                      40分

## 2 準備物

- ① リュックサック
- ② 水筒
- ③ 履き慣れた靴(すべりにくく、靴底がしっかりしたもの)
- ④ タオル
- ⑤ 軍手
- ⑥ 皮膚の弱い人や虫に刺されやすい人は長袖のシャツ(かぶれ防止のため)等

## 3 実施上の注意

- ① 道路を通る時は、通行車両に十分注意してください。
- ② 個人の所有物や畑などには立ち入らないでください。
- ③ 全体でペースをあわせて、協力して登ってください。
- ④ ゴミは持ち帰り、自然を大切にしてください(木を折ったりしない等)。

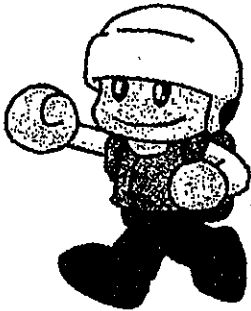
### ☆☆☆ 登山を計画されている引率者のみなさま ☆☆☆

登山道は、雨により滑りやすく危険な状態になっている場合や、夏場は草木が生い茂り歩きにくくなっている場合があります。また、スズメバチやイノシシなどの危険生物も目撃されています。

引率者のみなさまは、必ず下見により登山道の状況を十分に確認してから登山を行ってください。

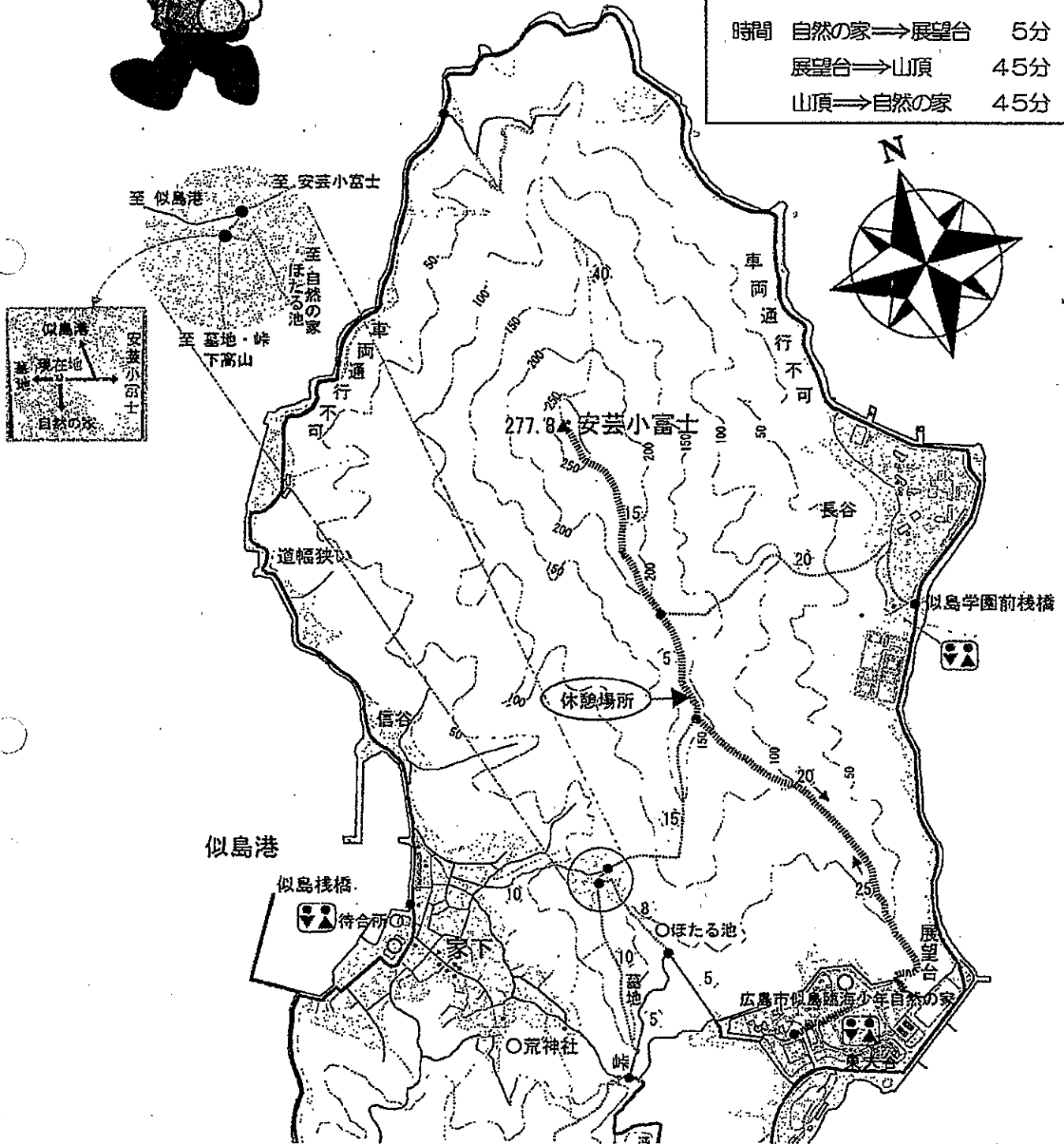
※当自然の家は登山道の整備は行っておりません。

# 安芸小富士 登山道マップ



## 展望台コース

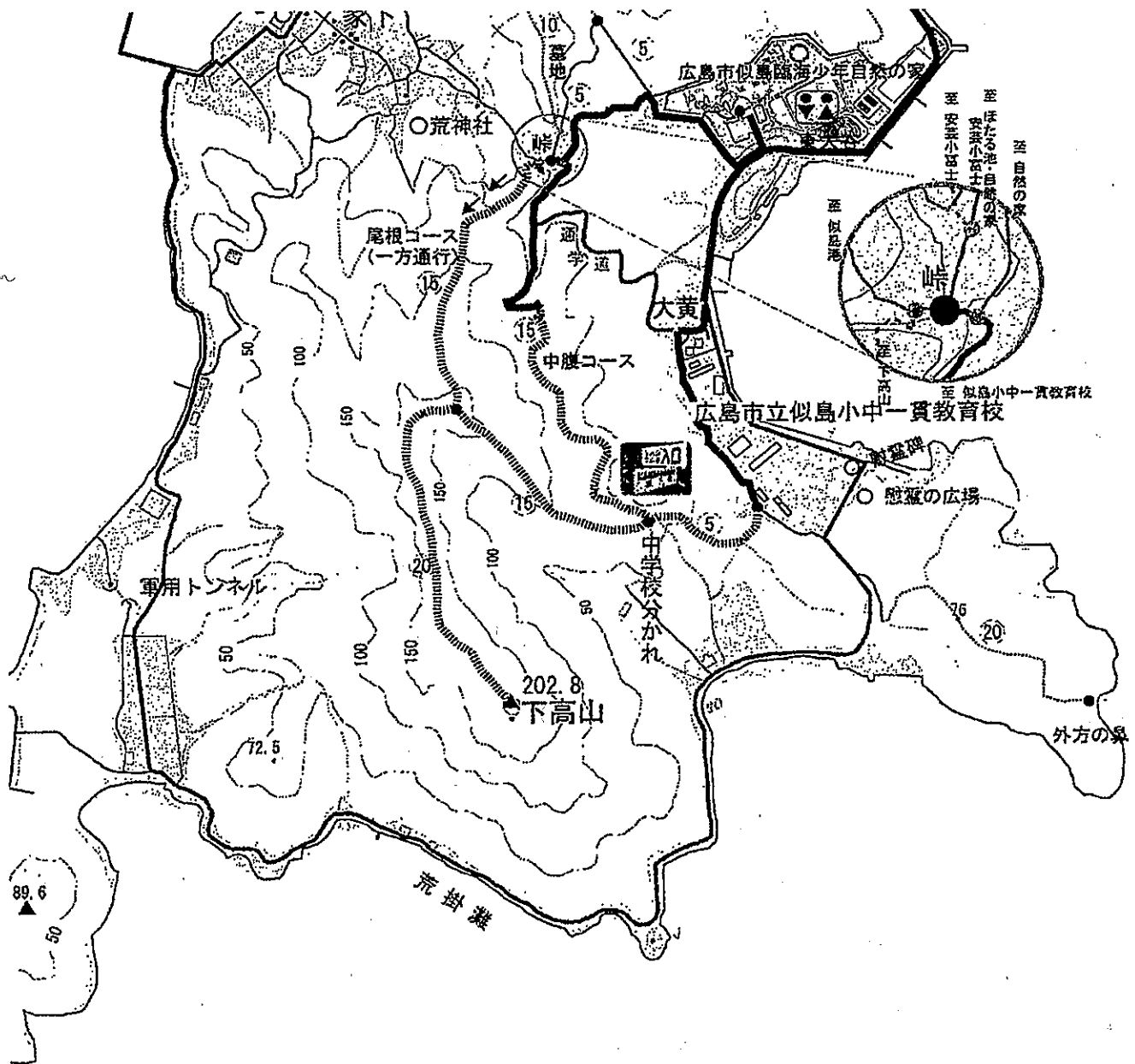
時間	自然の家→展望台	5分
	展望台→山頂	45分
	山頂→自然の家	45分



# 下高山 登山道マップ

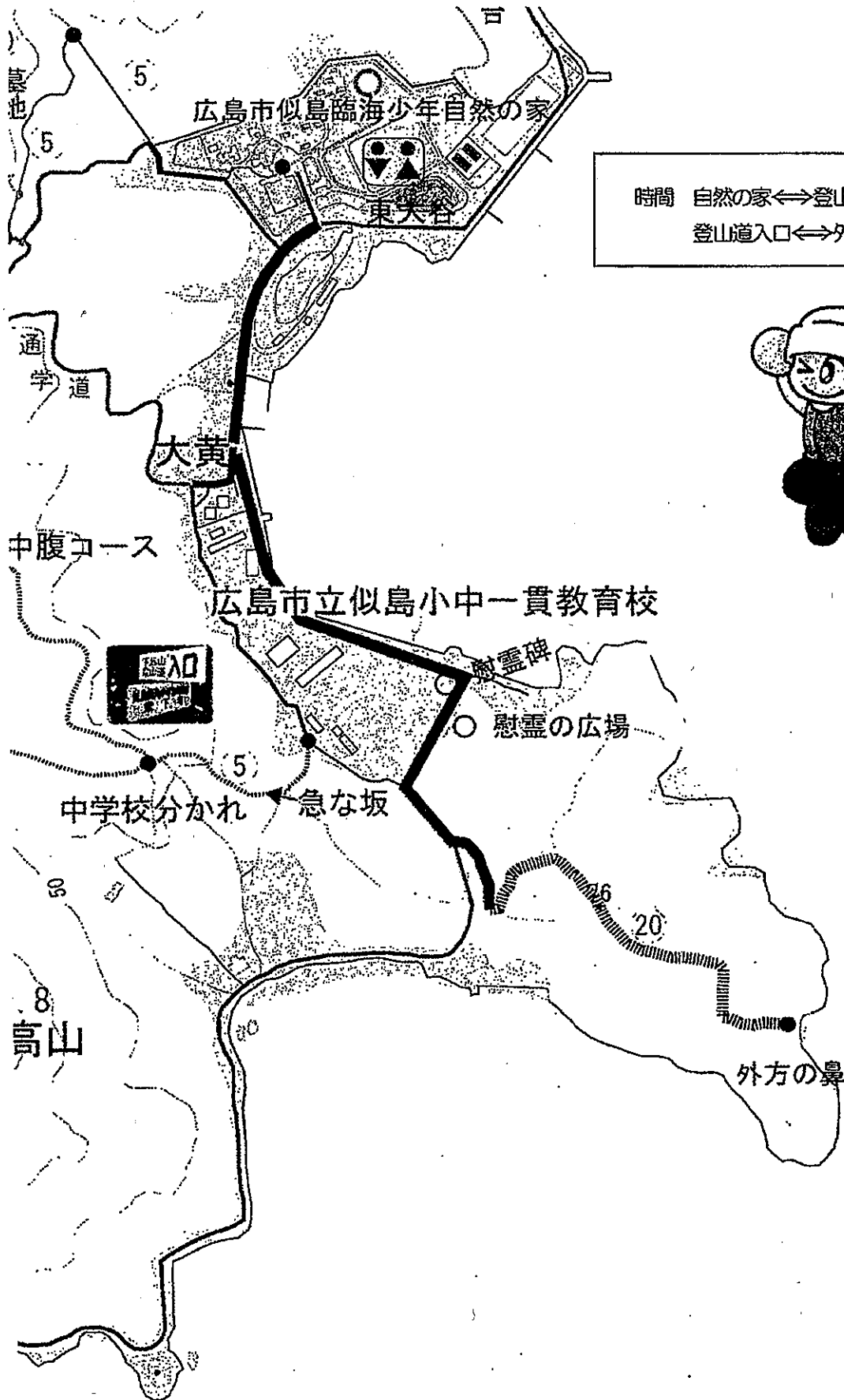
## 似島峠～中学校コース

時間	自然の家⇔登山道入口	15分
<中腹コース>		
	登山道入口⇔山頂	50分
<尾根コース>		
	登山道入口⇔山頂	35分
	山頂⇔似島中学校	40分
	似島中学校⇔自然の家	15分





# 外方の浜 登山道マップ



時間 自然の家⇔登山道入口 20分  
 登山道入口⇔外方の浜 20分



# ウォークラリー

交差点や分岐点だけを示したウォークラリーマップを頼りに、制限時間内に随所で出題される問題をどれだけ多く解いてゴールへ戻るかを競うゲームです。

- 1 対象 小学生以上
- 2 所要時間 1時間～2時間（制限時間は団体で設定してください）
- 3 実施場所 自然の家とその周辺
- 4 定員 なし（班の数が多いと待ち時間が長くなります。10班以下を目安にしてください。）
- 5 費用 無料
- 6 準備物 ① ウォークラリーマップ（A・Bコースがあります）  
② ウォークラリー問題&解答用紙（A・Bコースがあります）  
③ ウォークラリー指導者用マップ  
④ 筆記用具  
⑤ 問題パネル（施設より貸出可）  
※団体にてオリジナル問題を使用することもできます。  
⑥ バインダー（施設より貸出可）  
⑦ スタート・ゴール幕（施設より貸出可）
- 7 実施方法 ① 準備・・・貸出物品を事務室で受け取った後、ゲーム前に問題パネルを設置してください。  
② ゲーム説明等・・・競技者にゲーム説明と実施上の注意を説明してください。  
③ ゲーム開始・・・問題&解答用紙に班番号または班名、班員、スタート時間を記入して、時間差をおいて各班スタート（時間差は各団体で設定）してください。  
④ ゲーム終了・・・ゴール時間を記入して、得点の集計をしてください。先にゴールした班は、指定の場所で待機しましょう。  
⑤ 順位発表・・・解答の正解による得点から、時間超過による減点を差し引いた総合得点から順位を発表してください。  
⑥ 片付け・・・問題パネルを回収して、貸出物品を事務室まで返却してください。
- 8 ゲーム説明 ① 制限時間内（団体にて設定）にマップと問題&解答用紙だけを頼りに、班のメンバーと協力して問題を解いてゴール地点（スタート地点）まで戻って来てください。  
② 制限時間をオーバーすると1分につき5点減点となります。  
（例）制限時間60分で10時に出発して11時5分にゴールした場合  
5分×5点＝25点の減点  
③ 班のメンバーがバラバラに行動してはいけません（失格になります）。全員そろってゴールしてください。  
④ 競技者は、原則として徒歩でコースを回ります。
- 9 実施上の注意 ① 道路を通る時は、通行車両に十分注意してください。  
② 個人の畑等には立ち入らないでください。  
③ 地域の方々に出会ったら、元気よく挨拶をしましょう。  
④ 問題パネルを移動させてはいけません。  
⑤ 自然を大切にしてください（木を折ったりしない等）。

# ウォークラリーマップ (Aコース)

【表示】 ○ 現在地 → 進行方向 — 道 ≡ 溝 ≡≡ 橋 - - - - 柵・防波堤

<p>マップ①</p>	<p>マップ②</p>	<p>マップ③</p>	<p>マップ④</p>
<p>マップ⑤</p>	<p>マップ⑥</p>	<p>マップ⑦</p>	<p>マップ⑧</p>
<p>マップ⑨</p>	<p>マップ⑩</p>	<p>マップ⑪</p>	<p>マップ⑫</p>
<p>マップ⑬</p>	<p>マップ⑭</p>	<p>マップ⑮</p>	<p>マップ⑯</p>
<p>マップ⑰</p>	<p>マップ⑱</p>	<p>マップ⑲</p>	<p>マップ⑳</p>
<p>マップ㉑</p>	<p>マップ㉒</p>	<p>マップ㉓</p>	<p>マップ㉔</p>

# ウォークラリー問題&解答用紙 (Aコース)

指示1: 看板をチェックしながら歩きなさい。

問題 1 マップ①~②へ行く途中、左側にプールのウォータースライダーが見えます。  
ウォータースライダーの屋根までの高さは、何メートルあるか答えなさい。

指示2: マップ②の景色をよく見ながら歩きなさい。

問題 2 チェックポイント1の問題に答えなさい。

指示3: マップ⑥~⑦の景色をよく見ながら歩きなさい。

問題 3 マップ⑦、ここは景色のよいところです。俳句を一つ作りなさい。

問題 4 チェックポイント2の問題に答えなさい。

問題 5 マップ⑩の看板を背にした時、右前に大きな木があります。この木は何という木でしょうか。  
次の3つから選びなさい。

- (1) くすのき (2) ももの木 (3) さんしょうの木

問題 6 マップ⑬の看板の所は峠の頂上です。自然の家のグラウンドを0メートルとすると、  
ここの高さは何メートルか答えなさい。

問題 7 マップ⑱の三角形の中の看板には白地に青文字の漢字がいくつあるか答えなさい。

問題 8 チェックポイント3の問題に答えなさい。

問題 9 マップ㉔で海に浮かんでいるいかだで何を育てているか答えなさい。

問題10 チェックポイント4の問題に答えなさい。

## 解答欄 (1問10点 計100点)

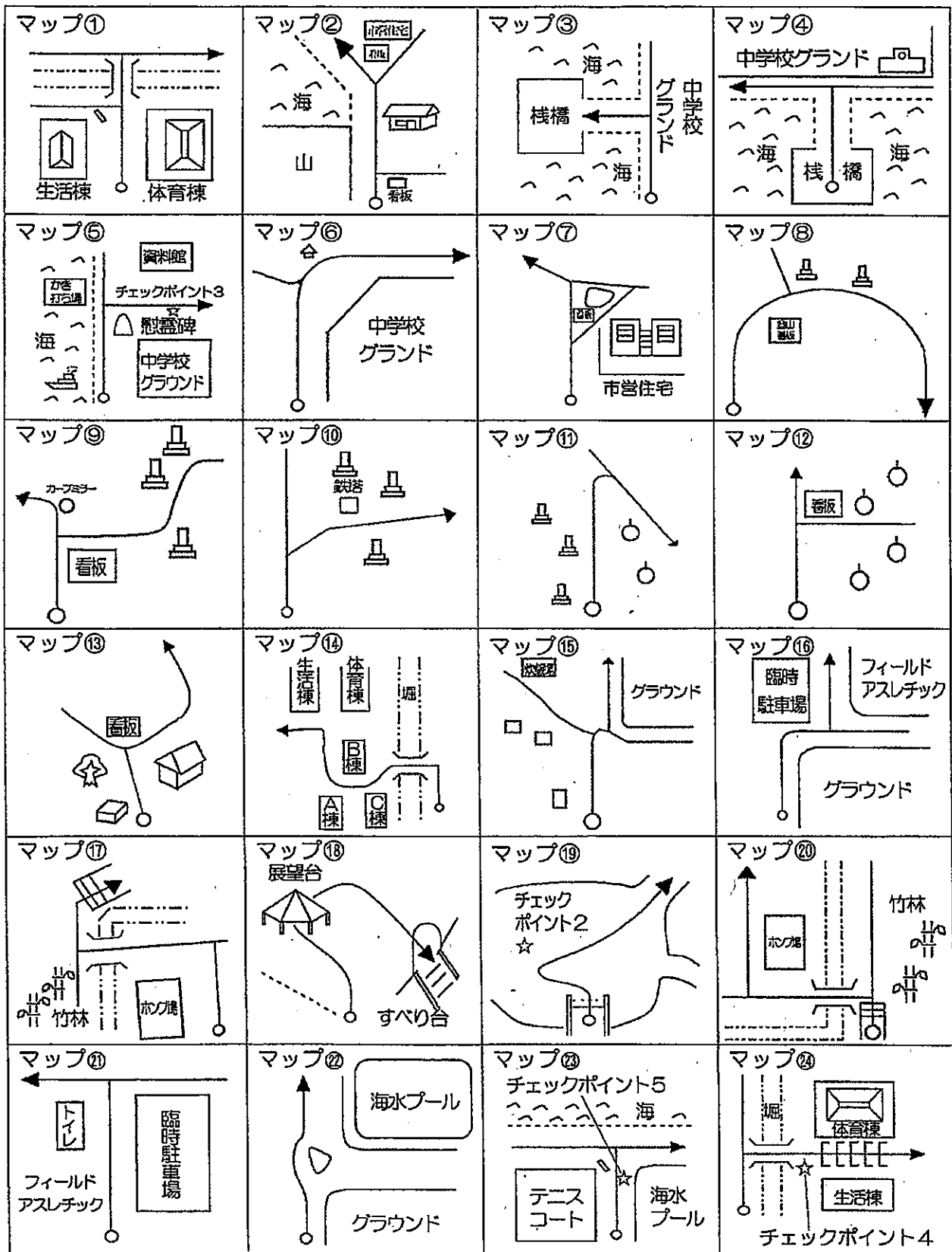
1	m	2	
3			
4	つ	5	6 m
7	個	8	
9		10	Km

班番号・班名	班員
--------	----

スタート時間	時 分	得点	点	順位
ゴール時間	時 分	減点	点	
所要時間	時間 分	総合点	点	

# ウォークラリーマップ (Bコース)

【表示】 ○ 現在地 → 進行方向 — 道 ≡ 溝 ≡≡ 橋 - - - 柵・防波堤



# ウォークラリー問題&解答用紙 (Bコース)

- 問題 1 マップ③で海に浮かんでいるいかだで何を育てているか答えなさい。
- 問題 2 チェックポイント3の問題に答えなさい。
- 問題 3 マップ⑦の三角形の中の看板には白地に青文字の看板に漢字がいくつあるか答えなさい。
- 問題 4 マップ⑨の看板の所は峠の頂上です。自然の家のグラウンドを0メートルとすると、ここの高さは何メートルか答えなさい。
- 問題 5 マップ⑩の看板の手前左側に大きな木があります。この木は何という木でしょうか。次の3つから選びなさい。  
 (1) くすのき (2) ももの木 (3) さんしょうの木

指示1 マップ⑦～⑩の景色をよく見ながら歩きなさい。

- 問題 6 マップ⑩、ここは景色がよいところです。俳句を一つ作りなさい。
- 問題 7 チェックポイント2の問題に答えなさい。

指示2 マップ⑩～⑬の景色をよく見ながら歩きなさい。

- 問題 8 チェックポイント5の問題に答えなさい。
- 問題 9 チェックポイント4の問題に答えなさい。

指示3 看板をチェックしながら歩きなさい。

- 問題10 マップ⑭～⑯へ行く途中、右側にプールのウォータースライダーが見えます。ウォータースライダーの屋根までの高さは、何メートルあるか答えなさい。

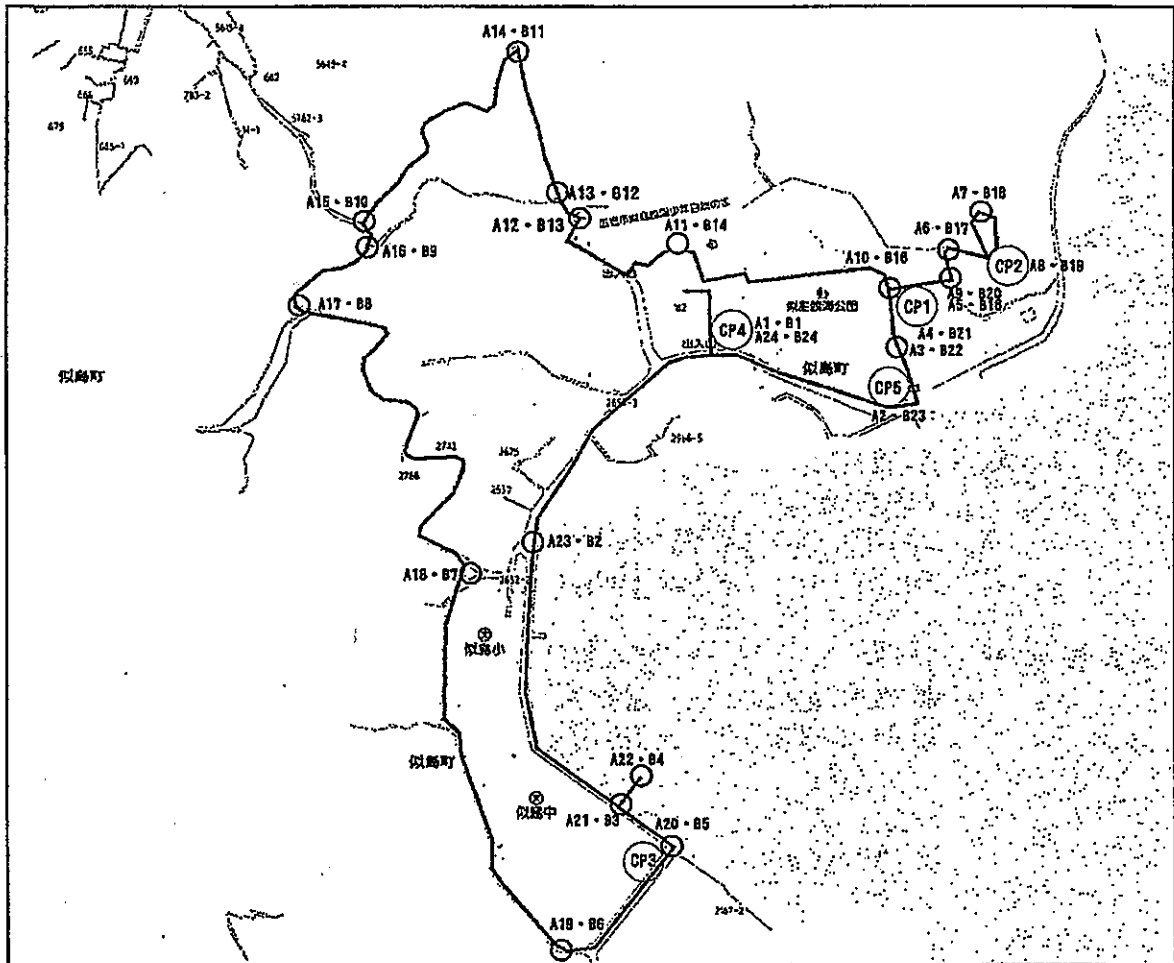
## 解答欄 (1問10点 計100点)

1		2		3	個
4	m	5			
6					
7	つ	8		種類	
9	Km	10		m	

班番号・班名		班員	
--------	--	----	--

スタート時間	時 分	得点	点	順位
ゴール時間	時 分	減点	点	
所要時間	時間 分	総合点	点	

# ウォークラリー指導者用マップ



ウォークラリーのチェックポイント及びコマ地図の位置です。

「Aコース」 → CP1・CP2・CP3・CP4

「Bコース」 → CP2・CP3・CP4・CP5

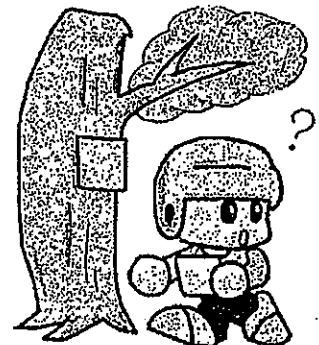
**CP5** ..... チェックポイント番号

**A2・B23** ..... ウォークラリーマップでの該当場所と番号

# チャレンジ日本一周

様々な場所に配置されたパネルを、制限時間内にどれだけ多く探し出してゴールに戻って来ることができるかを競うゲームです。

- 1 対象 小学生以上
- 2 所要時間 1時間半～2時間（制限時間は団体で設定してください）
- 3 実施場所 自然の家とその周辺
- 4 定員 なし
- 5 費用 無料
- 6 準備物 ① チャレンジ日本一周解答用紙  
② 筆記用具  
③ バインダー（施設より貸出可）  
④ スタート・ゴール幕（施設より貸出可）
- 7 実施方法 ① 準備・・・・・・・・貸出物品を事務室で受け取ってください。  
② ゲーム説明など・・競技者にゲーム説明と実施上の注意を説明してください。  
③ ゲーム開始・・・・解答用紙に班番または班名、スタート時間を記入して、各班一斉にスタート（時間差を設けても構いません）してください。  
④ ゲーム終了・・・・ゴール時間を記入して、得点の集計をしてください。先にゴールした班は、指定された場所で待機しましょう。  
⑤ 順位発表・・・・様々な得点の合計から、時間超過による減点を差し引いた総合得点より順位を発表してください。  
⑥ 片付け・・・・貸出物品を事務室まで返却してください。
- 8 ゲーム説明 ① 解答用紙にあるエリアマップに隠された50個のパネルを班のメンバーと協力して探し出し、制限時間内（団体にて設定）にゴール地点（スタート地点）まで戻って来てください。  
② ゲーム前に、解答用紙の左下にある25マスのピンゴポイント欄に、47都道府県と家下（やじた）、宇品、自然の家、計50個の中から25個を書いてください。  
③ 生活棟、体育棟、宿泊棟等、建物内にはパネルはありません。体育棟裏、バンガローテント下、炊飯場内、プール内、堀の中に入ってはいけません。





- ④ パネルを見つけたら、解答用紙にそのパネルに書かれている記号または文字を記入してください。得点については以下のとおりです。

《都道府県得点【各2点】》

⇒パネルを見つけたら、解答用紙の該当する箇所にパネルに書かれている記号または文字を記入します。その正解数が得点になります。

《ビンゴ得点【各10点】》

⇒スタート前に記入した25個のパネルを見つけたら、該当するビンゴ得点欄のマスに○印をつけていき、縦、横、斜めに○印が5つ並んだら得点となります。

《ボーナス得点【各10点】》

⇒引率者の方で、上述の50個の中から3個を選んでください。その3個を見つけた数が得点になります。スタート前に発表するかゴール後に発表するかは、団体にて決定してください。

《旅行得点【各2点】》

⇒ゴールした後に集計します。都道府県解答欄で正解した欄を口印で囲みます。スタートから出発して、口印で囲んだ欄が長くつながるほど、得点になります。

(例) 下記のようになれば、2点×3個=6点



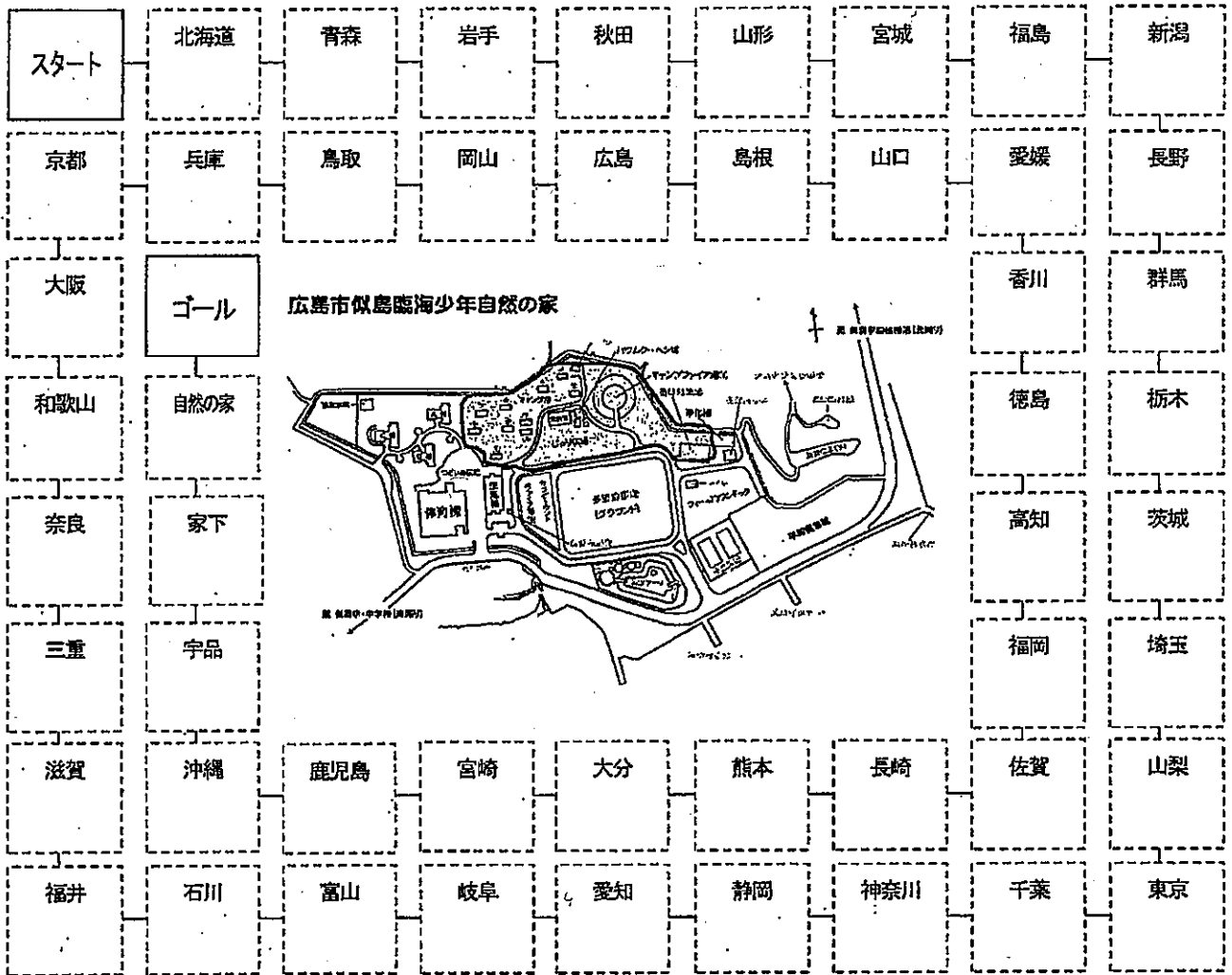
- ⑤ 制限時間をオーバーすると1分につき5点減点となります。

(例) 制限時間60分で10時に出発して11時5分にゴールした場合  
5分×5点=25点の減点

- ⑥ 班のメンバーがバラバラに行動してはいけません(失格になります)。全員そろってゴールしてください。  
⑦ 競技者は、原則として徒歩でコースを回りましょう。

- 9 実施上の注意
- ① 敷地の外にはパネルはありませんので、道路には出ないでください。
  - ② 敷地内を通る車両に十分注意してください。
  - ③ 地域の方々に出会ったら、元気よく挨拶をしましょう。
  - ④ パネルを移動させてはいけません。
  - ⑤ 自然を大切にしてください(木を折ったりしないなど)。

# チャレンジ日本一周解答用紙



## ビンゴ得点


班番号・班名

都道府県 得点	× 2点	点
ビンゴ 得点	× 10点	点
ボーナス 得点	× 10点	点
旅行得点	× 2点	点
総合得点		点

制限時間	時 分	順位
スタート時間	時 分	
ゴール時間	時 分	
所要時間	時間 分	
減点	1分=5点	
		位

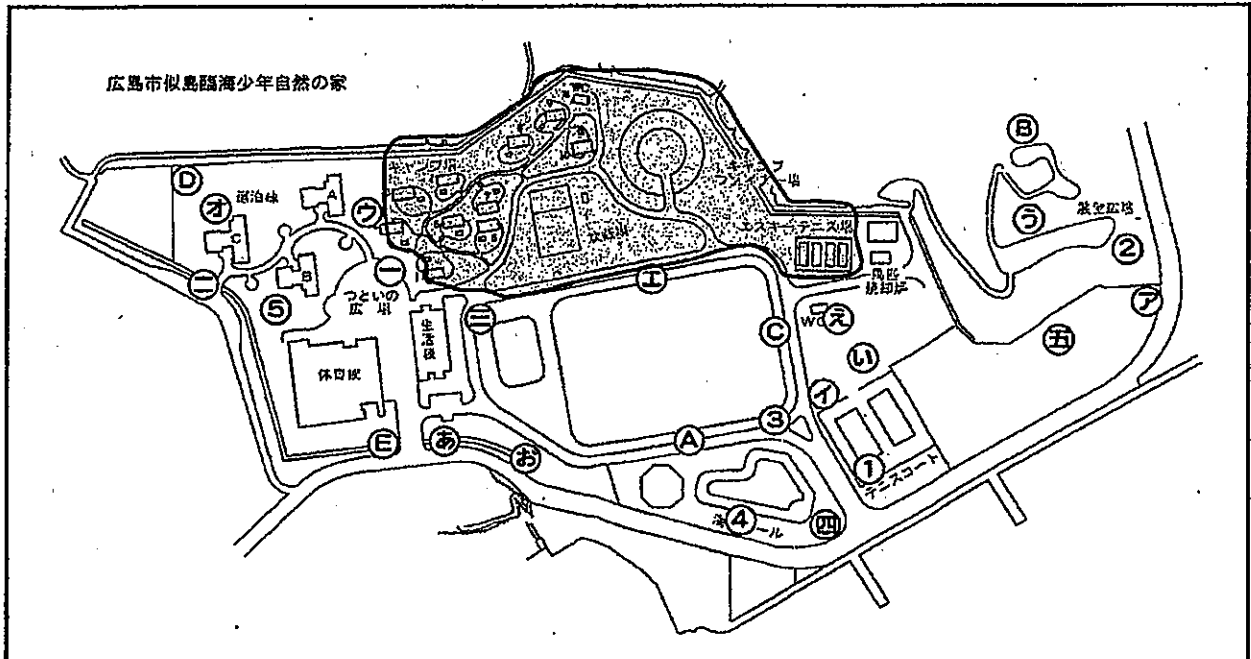
# ポイントラリー

マップを頼りに、5つの問題パネルとそれぞれの問題の答えとなりえる記号・文字が書かれた選択肢パネルを探し出し、制限時間内にどれだけ多くの問題を解いてゴールに戻ってくるかを競うゲームです。

- |   |      |  |
|---|------|--|
| 1 | 対 象  | 小学生以上  |
| 2 | 所要時間 | 1時間半～2時間（制限時間は各団体で設定してください）  |
| 3 | 実施場所 | 自然の家とその周辺  |
| 4 | 定員   | なし   |
| 5 | 費用   | 無料   |
| 6 | 準備物  | ① ポイントラリー解答用紙<br>② 筆記用具<br>③ 問題パネル（施設より貸出可 選択肢パネルは常設してあります）<br>※団体にてオリジナル問題を使用することもできます。<br>④ バインダー（施設より貸出可）<br>⑤ スタート・ゴール幕（施設より貸出可） |
- 7 実施方法
- ① 準備・・・・・・・・・・貸出物品を事務室で受け取った後、ゲーム前に問題パネルを設置してください。
  - ② ゲーム説明など・・・・競技者にゲーム説明と実施上の注意を説明してください。また、引率者の方からのボーナス問題を発表してください。  
（例）安芸小富士の高さは何メートルか答えなさい。
  - ③ ゲーム開始・・・・解答用紙に班番号または班名、班員、スタート時間を記入して、各班一斉にスタート（時間差を設けても構いません）してください。
  - ④ ゲーム終了・・・・ゴール時間を記入して、得点の集計をしてください。先にゴールした班は、指定された場所で待機しましょう。
  - ⑤ 順位発表・・・・解答の正解による得点から、時間超過による減点を差し引いた総合得点から順位を発表してください。
  - ⑥ 片付け・・・・問題パネルを回収して、貸出物品を事務室まで返却してください。
- 8 ゲーム説明
- ① マップに書かれている選択肢パネルを見つけ出して、そのパネルに書かれている記号・文字を解答用紙の選択肢パネルの欄に記入してください。
  - ② マップのどこかに問題パネルが隠されていますので、見つけたら、問題の欄に記入してください。
  - ③ 見つけ出した選択肢パネルの中に、問題の答えがあるので、時間内にできるだけ多くの選択肢パネルを探して、問題を解いてください。
  - ④ 得点については以下のとおりです。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択肢パネル得点【各3点】 ⇒選択肢パネルを見つけたら、解答用紙の該当する箇所にその選択肢パネルに書かれている記号または文字を記入します。その正解数が得点になります。</li> <li>・解答得点【各4点】 ⇒解答用紙の答え欄に書かれた解答の正解数が得点になります。</li> <li>・ボーナス得点【5点】 ⇒引率者の方から設定されたボーナス問題の正解数が得点になります。</li> </ul>
--
  - ⑤ 制限時間をオーバーすると1分につき5点減点となります。  
（例）制限時間60分で10時に出発して11時5分にゴールした場合  
5分×5点＝25点の減点
  - ⑥ 班のメンバーがバラバラに行動してはいけません（失格になります）。全員そろってゴールしてください。
  - ⑦ 競技者は、原則として徒歩でコースを回しましょう。
- 9 実施上の注意
- ① 道路を通る時は、通行車両に十分注意してください。
  - ② 個人の畑などには立ち入らないでください。
  - ③ 地域の方々に出会ったら、元気よく挨拶をしましょう。
  - ④ 問題パネルを移動させてはいけません。
  - ⑤ 自然を大切にしてください（木を折ったりしない等）。

# ポイントラリー解答用紙



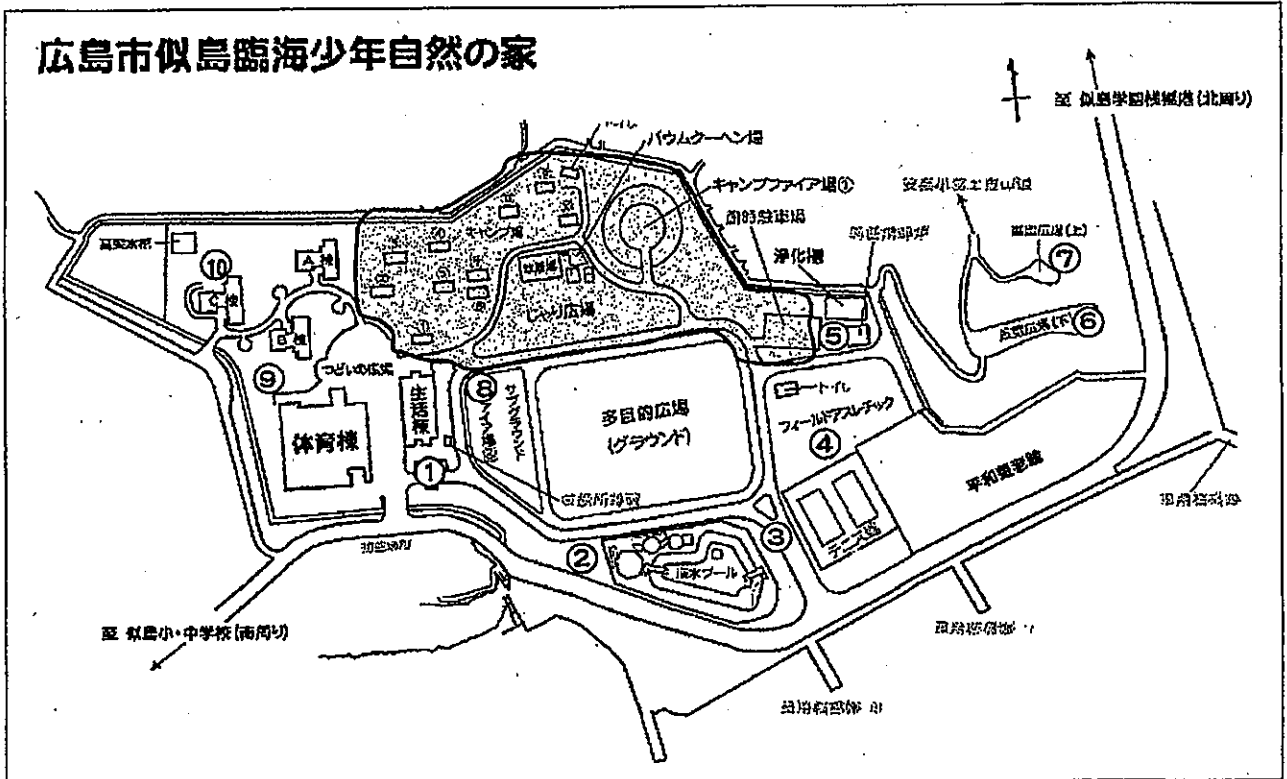
スタート時間	時 分	班番号・班名	班 員				
ゴール時間	時 分						
問 題		選 択 肢 パ ネ ル					答 え
問1		あ	い	う	え	お	
問2		1	2	3	4	5	
問3		ア	イ	ウ	エ	オ	
問4		一	二	三	四	五	
問5		A	B	C	D	E	
ボーナス問題		選択肢パネル 得点	解答得点	ボーナス 得点	減 点	合 計	
		3点×	4点×	5点×	5点×		
	答え	点	点	点	点	点	点

# ナイトオリエンテーリング

夜に、様々な場所に配置されたポストを、制限時間内にどれだけ多く探し出してゴールに戻って来ることができるかを競うゲームです。

- 1 対象 小学生以上
- 2 所要時間 1時間程度（制限時間は団体で設定してください）
- 3 実施場所 自然の家とその周辺
- 4 定員 なし
- 5 費用 無料
- 6 準備物 ① ナイトオリエンテーリングマップ（1・2・オリジナル用があります）  
② 筆記用具  
③ 懐中電灯（班に2個以上）  
④ ポスト（施設より貸出可）  
⑤ バインダー（施設より貸出可）  
⑥ 笛（夜間の活動ですので各班に1個以上持たせることをお勧めします）
- 7 実施方法 ① 準備・・・・・・・・貸出物品を事務室で受け取った後、ゲーム前にポストを設置してください。  
② ゲーム説明など・・競技者にゲーム説明と実施上の注意を説明してください。  
③ ゲーム開始・・・・マップにある解答用紙に、班番号または班名、班員、出発時間を記入して、時間差を以て各班出発（時間差は各団体で設定）してください。ゲームの制限時間は60分以下としてください（団体で設定してください）。  
④ ゲーム終了・・・・ゴール時間を記入して、得点の集計をしてください。先にゴールした班は、指定された場所で待機しましょう。  
⑤ 順位発表・・・・解答の正解による得点から、時間超過による減点を差し引いた総合得点から順位を発表してください。  
⑥ 片付け・・・・ポストを回収して、貸出物品を事務室まで返却してください。
- 8 ゲーム説明 ① マップに書かれているポストの順番通りにコースを回しましょう。  
② ポストを見つけたら、解答用紙のポスト記号欄にそのポストに書かれている文字を記入してください。正解による得点は解答用紙に書かれているとおりです（パネルごとに得点が違います）。  
③ 制限時間をオーバーすると1分につき5点減点となります。  
（例）制限時間60分で19時に出発して20時5分にゴールした場合  
5分×5点=25点の減点  
④ 総合得点と同じ場合は、所要時間が短い班が上位になります。  
⑤ 班のメンバーがバラバラに行動してはいけません（失格になります）。全員そろってゴールしてください。  
⑥ 競技者は、原則として歩いて回しましょう。走ってはいけません。
- 9 実施上の注意 ① 夜間の活動ですので、安全には十分に注意してください。  
② 一般道路を通る時は、通行車両に十分注意してください。  
③ 個人の所有物や畑等には立ち入らないでください。  
④ 地域の方々に出会ったら、元気よく挨拶をしましょう。  
⑤ ポストを移動させてはいけません。  
⑥ 自然を大切にしてください（木を折ったりしない等）。

# ナイトオリエンテーリングマップ

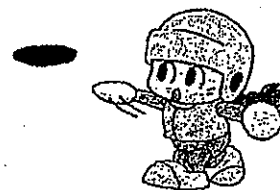


班番号・班名			班員		
スタート時間	時 分		ゴール時間	時 分	
所要時間					分
ポスト番号	1	2	3	4	5
ポスト記号					
得点	5点	10点	5点	10点	5点
ポスト番号	6	7	8	9	10
ポスト記号					
得点	15点	20点	10点	10点	10点
得点	減点		総合得点		順位
点	点		点		位

# ディスクゴルフ

フライングディスクをスタートラインから投げ、ゴールへ何投で入れることができるかを競うゲームです。全部で12ホールあり、それぞれのコースで投げた回数を合計し、より少ない回数で全てのホールを回り終えることを目指しましょう。（※令和4年度は、改修工事のため8コースとなります）

- |          |  |
|----------|--|
| 1 対象     | 小学生以上  |
| 2 所要時間   | 1時間～2時間  |
| 3 実施場所   | 自然の家とその周辺  |
| 4 定員     | なし   |
| 5 費用     | 無料   |
| 6 準備物    | ① ディスクゴルフ スコアシート<br>② 筆記用具<br>③ フライングディスク（施設より貸出可 人数分）<br>④ バインダー（施設より貸出可）   |
| 7 実施方法   | ① 準備・・・貸出物品を事務室で受け取ってください。<br>② ゲーム説明など・・・競技者にゲーム説明と実施上の注意を説明してください。<br>③ ゲーム開始・・・スコアシートに、名前とフライングディスクの番号を記入してください。1班につき6人～8人を目安に編成してください。人数が多い場合は、時間差をおいてスタートする、もしくは、離れたコースからそれぞれの班がスタートする等団体で設定してゲームを始めてください。<br>④ ゲーム終了・・・全てのホールを終えた班から、個人の投げた回数の合計をそれぞれ集計してください。投げた回数の合計が少ない人が勝ちになります。先に全てのホールを終えた班は、指定された場所で待機しましょう。<br>⑤ 順位発表・・・投げた回数の合計をもとに順位を発表してください。<br>⑥ 片付け・・・貸出物品を事務室まで返却してください。  |
| 8 ゲーム説明  | ① ゲーム前に、班の中で投げる順番をジャンケンで決めてください。<br>② スコアシートには、地図、距離（m）、PARが記載されています。スコアシートには、投げた回数を記入してください（PARとは目標回数のことです）。<br>③ スタートライン（オレンジの線）を越えて投げてはいけません。<br>④ そのホールでの2投目以降は、ディスクが落ちた地点からゴールまでの距離が遠い順に投げてください。<br>⑤ 以下の場合はペナルティとなり、1回ペナルティとなるごとに、そのホールのゴールに入れるまでに投げた回数に+1が加えられます。<br>（1）ディスクが木や茂み、建物などに引っかかった場合<br>⇒ディスクを下におろした地点から投げます。<br>（2）ディスクがフェンスの外側や溝に落ちた場合<br>⇒投げる前の地点に戻って投げ直します。<br>⑥ 班全員がディスクをゴールに入れてから順路案内にしたがって次のホールに進んでください。<br>⑦ 第2ホール目以降のコースで投げる順番は、「スコアシート順」「前のホールの成績順」のどちらでもかまいません。 |
| 9 実施上の注意 | ① 地域の方々に出会ったら、元気よく挨拶をしましょう。<br>② 他の利用者・車などに十分に注意してディスクを投げてください。<br>③ ゴールに乗ったり、揺らしたりしてはいけません。<br>④ ファイア場周辺コースでは、土手の上り下りは階段を利用してください。<br>⑤ ディスクが危険な場所に落ちた場合は、職員にご連絡ください。<br>⑥ 自然を大切にしてください（木を折ったりしない等）。  |







# グラウンドゴルフ

ゴルフを手軽に楽しめるようにアレンジされた軽スポーツです。ホールポストを使用して、ゴルフのようにボールをクラブで打ち、何回打ってホールイン（トマリという）するかを競うゲームです。ルールは簡単で、ゲームの進め方はゴルフと基本的に同じです。

- 1 対象 小学生以上
- 2 所要時間 1コース1時間程（2コース利用できます）
- 3 実施場所 自然の家グラウンド
- 4 定員 なし
- 5 費用 無料
- 6 準備物 ① グラウンドゴルフ スコアシート  
② 筆記用具  
③ ホールポスト・ポスト  
④ スティック（施設より貸出可）  
⑤ グラウンドゴルフ用ボール（施設より貸出可）
- 7 実施方法 ① 準備・・・グラウンドゴルフを行う旨を事務室までお知らせいただいた後、グラウンドにある倉庫から貸出物品をご使用ください。スコアシートを参考にし、ホールポスト・ポストを設置してください。  
② ゲーム説明など・・・競技者にゲーム説明と実施上の注意を説明してください。  
③ ゲーム開始・・・スコアシートに、団体名、名前などを記入してください。1班につき6人～8人を目安に編成してください。人数が多い場合は、時間差をおいてスタートする、もしくは離れたホールから班ごとにスタートするなどしてゲームを始めてください。  
④ ゲーム終了・・・全てのホールを終えた班から、個人の打った回数の合計をそれぞれ集計してください。打った回数の合計が少ない人が勝ちになります。先に全てのホールを終えた班は、指定された場所で待機しましょう。  
⑤ 順位発表・・・打った回数の合計をもとに順位を発表してください。  
⑥ 片付け・・・貸出物品をグラウンドの倉庫まで返却し、グラウンド整備を行ってください。
- 8 ゲーム説明 ① ゲーム前に、班の中で打つ順番をジャンケンで決めてください。  
② スコアシートに記入例を参考にして、ボールを打った回数を記入してください。  
③ そのホールでの2打目以降は、ボールからホールポストまでの距離が遠い順に打ってください。  
④ 自身がボールを打ち終わったら、すみやかに次の競技者の妨げにならない場所に移動してください。  
⑤ 競技者がボール打つ前後は、ボールやホールポストの周辺等に立ったりしてはいけません。  
⑥ そのホールでの1打目に「トマリ」になったときは「ホールインワン」となり、その競技者の合計打数から3打差し引いて集計します。  
⑦ 以下の場合にはペナルティとなり、1回ペナルティとなるごとに、そのコースでのスコアに+1が加えられます。  
（1）競技中において、打撃練習を行った場合  
⇒打撃練習を行った場合はペナルティとなります。  
（2）ボールが長い草や木の茂み等に入ってしまった際に、自身が有利になるように草や木の枝を折った場合  
⇒球の所在と自己の球であることを確かめるために、これらのものにふれることができます。  
⑧ 競技者が1打で球を2回打ったときは、2回打ったこととなります。ただし、空振りの場合は打ったことになりません。  
⑨ 競技者によって打たれたボールが他の競技者のボールに当たったときは、ボールの止まったところから競技を続けます。当てられた競技者のボールは元の位置に戻さなければなりません。  
⑩ 競技者は、自身が作った穴や足跡を全部直して次のホールへ移動しなければなりません。  
⑪ 班全員がそのホールを終るまでは、他の班はそのホールでボールを打ってはいけません。
- 9 実施上の注意 ① ホールポストは、競技者全てがそのホールを終るまでは移動させてはいけません。  
② 自然を大切にしてください（木を折ったりしない等）。



# カプラを使った積み木遊び

フランス生まれの木製ブロック「カプラ」を使って、グループで協力して高く積み上げることがを競ったり、全員で協力して「ナイアガラの滝」等を創ったりすることができます。

仲間と協力して作品を創りあげることで、仲間と協力することの大切さを確認できます。グループ活動にお役立てください。

- 1 対象 小学生以上  
※ ただし、保護者又は引率者と一緒に活動する場合にはこの限りではない。

- 2 所要時間 1時間半～2時間  
(制限時間は団体で設定してください)

- 3 実施場所 プレイホール

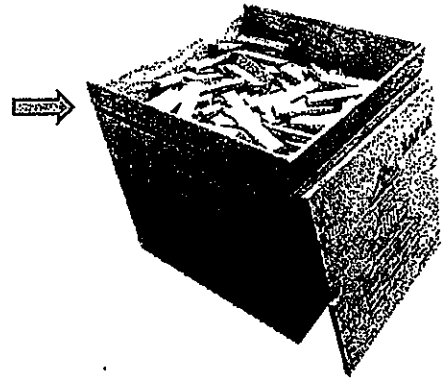
- 4 定員 なし

- 5 費用 無料

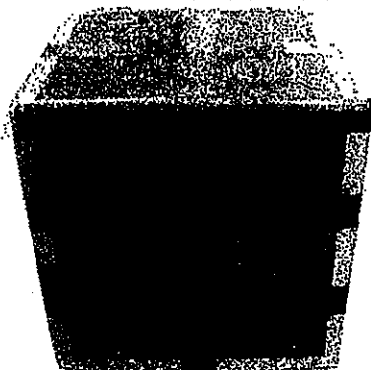
- 6 服装 ① 動きやすい服  
② 体育館シューズ  
③ カプラ：※ 1箱（約1,000ピース）が10箱あります。

- 7 実施方法 ① 準備・・・プレイホールにあるカプラを必要分だけ出してください。  
② 説明・指導など・・・引率者より活動についての説明・指導と実施上の注意を説明してください。  
※ 職員より指導等はいりません。  
③ 活動  
④ 片付け・・・カプラを元あったとおりに片付けてください。  
※ 箱にカプラを収める際には、箱を揺すりながら入れると収めやすいです。  
※ 約1,000ピースを箱に入れると、箱の上側の線程度（上の写真のとおり）の高さになります。  
最後に、ダンボール箱を被せて（下の写真のとおり）元の場所に戻してください。

- 8 実施上の注意 ① カプラは大切に扱ってください。  
② カプラを人にむけて投げたり、他人の作品（作業）を故意に崩す（邪魔する）ことはしてはいけません。

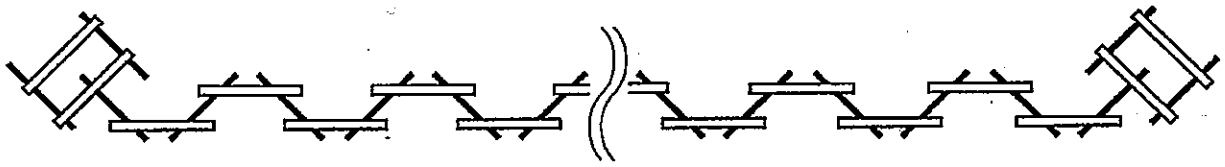




カプラ  
1箱（約1,000ピース）



カプラの片づけ  
(ダンボールを被せた状態)

## ナイアガラの滝の作り方

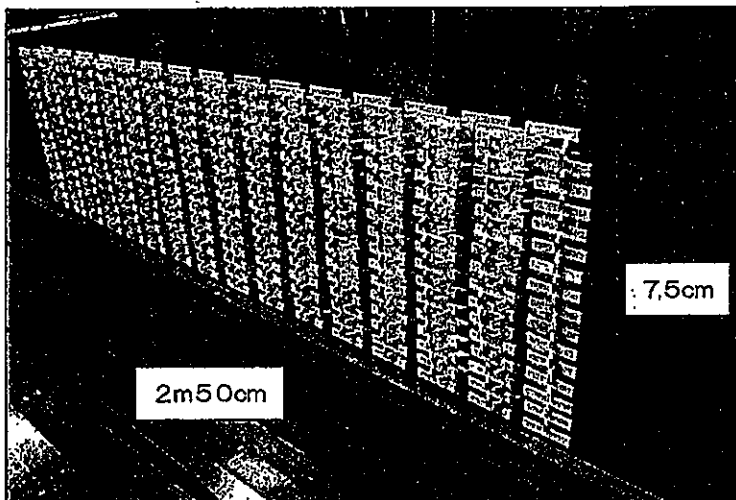


 ... 1、3、5...奇数段  
 ... 2、4、6...偶数段

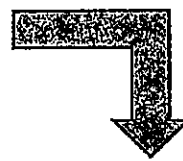
上の図のとおり、カプラを積み上げます。

※ 引率者が2段目まで積み上げておくと、参加者が置きやすくなります。

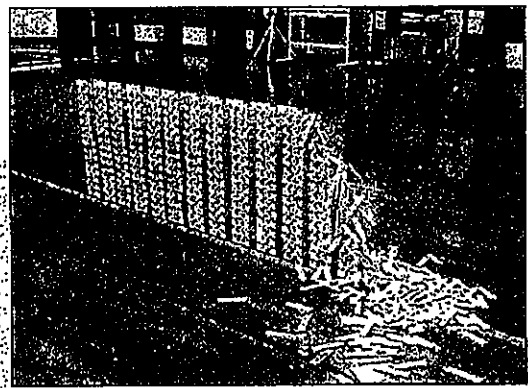
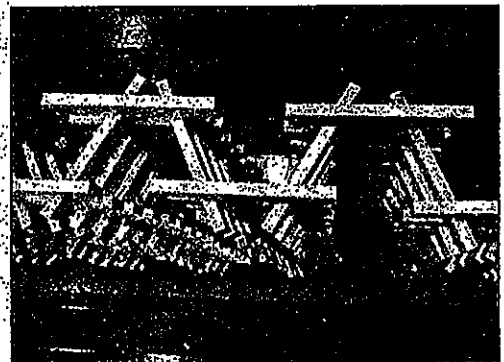
※ 1箱（1000ピース入）で幅およそ2m50cm、高さおよそ75cmのものが作れます。



1箱（1000ピース）で作ったナイアガラの滝



上から見た様子



崩す時は、カプラの一番端の下を手で払うと全体がゆっくりと滝のように崩れます。

# クubb (Kubb) 体験

クubb (Kubb) はスウェーデン発祥の「的あて」と「陣取り合戦」を融合したゲームです。一投一投で戦局が変わり、チーム全員で喜びを分かち合えるチームゲームです。

子どもから高齢者までハンディをつけずに楽しむことのできるニューゲームです。

- 1 対象 小学生以上  
※ ただし、保護者又は引率者と一緒に活動する場合にはこの限りではない。
- 2 所要時間 20～30分（1回）  
（制限時間は団体で設定してください）
- 3 実施場所 プレイホール
- 4 定員 原則6人対6人（1チーム1～10人程度まで可）
- 5 費用 無料
- 6 服装 ① 動きやすい服  
② 体育館シューズ
- 7 実施方法 ① 準備・・・・・・・・・・プレイホールにあるクubbを必要分だけ出してください。  
※ 1セット クubb（木片）10個、キング（大木片）1個、カストピンナ（木棒）6本  
② 説明・指導など・・引率者より活動についての説明・指導と実施上の注意を説明してください。  
※ 職員より指導等はいりません。  
③ ルール・・・・（コート）  
8m×5mで中央にキングを置きます。  
それぞれのベースライン上に5個のクubbを等間隔で立てておきます。

## （試合進め方）

先行・後攻： 各チームの代表1名が同じベースラインから同時にカストピンナをキングめがけて投げ、キングに近い方が先行かコートを選びます。

センターラインを越えた場合やキングに触れた場合は無効となります。

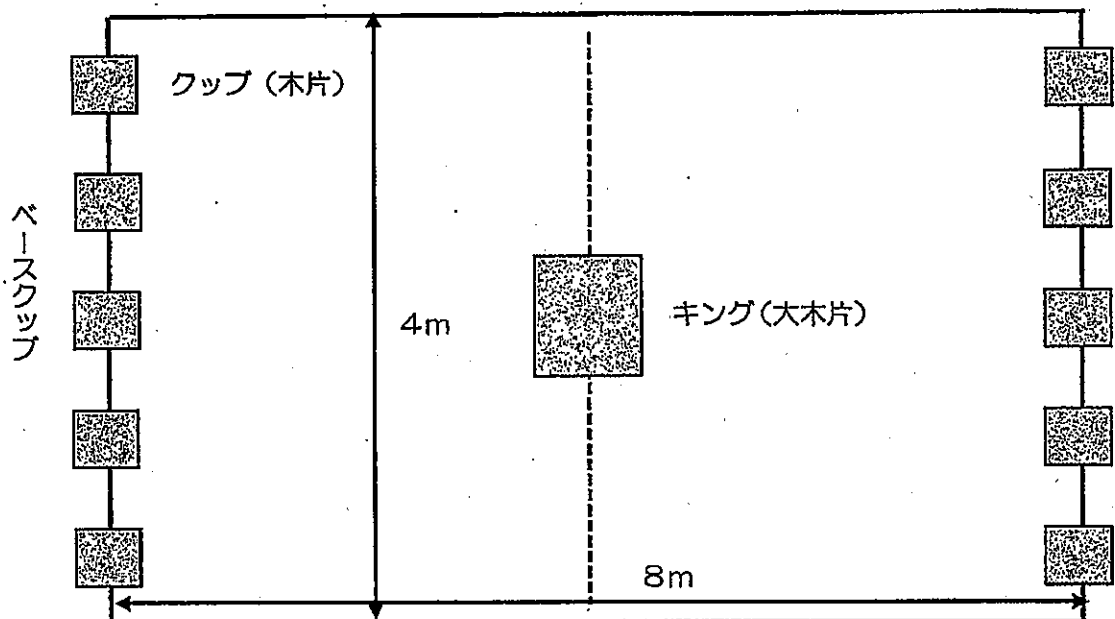
- 攻撃1：
- ・先攻チームがベースライン後方より相手ベースライン上のクubb（ベースクubb）をめがけてカストピンナを一人ずつ投げ、ベースクubbを倒します。
  - ・カストピンナはリレーのバトンのようにまっすぐ持ち、アンダーハンド（下手）で投げなければなりません。
  - ・6人投げ終わると交代です。
  - ・投げる順番は毎回変えてもかまいません。

- 勝 敗：・相手コート（コート半分）にあるクップを全部倒すとキングを倒す権利が与えられ、キングを先に倒したチームの勝ちとなります。また、試合途中でキングを倒した場合は、倒したチームが即負けとなります。
- ・時間制の場合は最後の攻めが終了した時点で、クップの数が多い方が勝ちです。

- フィールドクップ：・自陣にあるクップが相手に倒された場合は、相手の攻撃終了後、攻撃前に倒されたクップ全てを自陣のベースラインから相手コートに投げ入れます。
- ・投げる際、コート外に出て止まったもの、最初のバウンド（着地）が中央ラインを越えなかったものはファウルとなり再度投げ入れます。
  - ・2度ファウルした場合は、相手チームが任意の場所に置くことができます。
  - ・投げ入れられたクップはそのコートのチームメンバーが立てます。立てる場合は地面に面した短い辺のどちらかを軸として立てます。
  - ・こうして投げ入れられたクップをフィールドクップと呼びます。

- 攻撃2：・攻撃時、相手コートに投げ入れたフィールドクップがある場合は、先に全てのフィールドクップを倒さないとベースクップを倒すことは出来ません。
- ・フィールドクップを倒し残した場合は、相手チームの攻撃はセンターラインに一番近いクップの距離からカストピンナを投げる事が出来ます。
  - ・キングを倒す時はベースラインから投げます。

- 戦 略：・フィールドクップはなるべくセンターライン近くに止まるように投げると攻撃時に倒しやすくなります。
- ・フィールドクップが複数ある場合は、なるべくお互いが近くになると、カストピンナで複数のクップを倒す事が出来ます。
  - ・自陣に投げ入れられたクップを立てる場合は、相手が倒しにくいように、それぞれ離れるように立てるとよいでしょう。



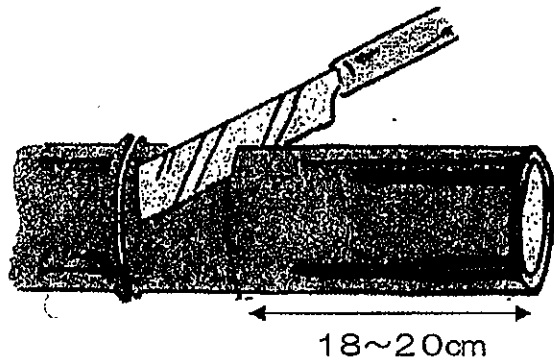
④ 片付け・・・クップを元あったとおりに片付けてください。

#### 8 実施上の注意

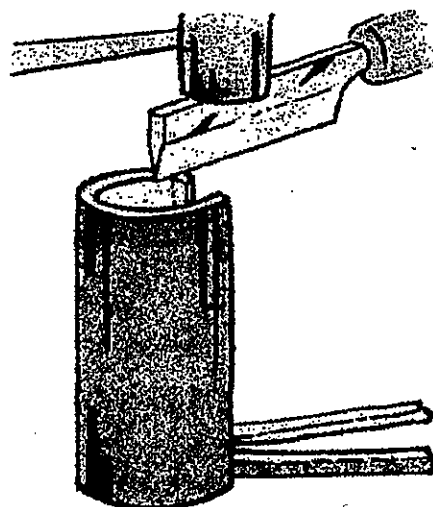
- ① クップは大切に扱ってください。
- ② クップを人にむけて投げたりしてはいけません。

<b>はし</b>		製作時間 (片付け等含む)	1.5~2時間 ※人数等により変わります。
		材料費 (一人当たり)	10円
活動可能な人数	120人	材料 (一人当たり)	竹
準備物	使用する工具 (貸出分)	小刀、のこぎり、なた、木づち、さしがね、工作台	
	団体で準備するもの	紙やすり	

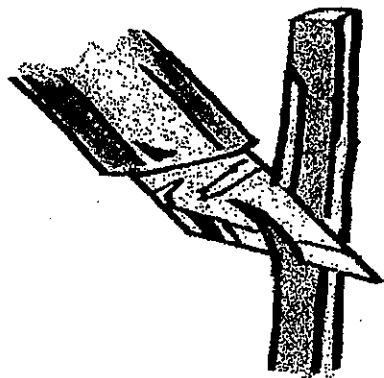
(1) のこぎりで切る。



(2) なたを使って竹を割る。  
(一人2本)

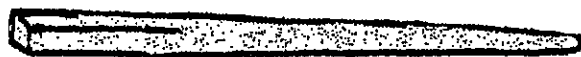


(3) 竹を削り、形を整える。



(注) 厚みと幅を考え、  
同じものを2本作りましょう。

(4) 紙やすりでみがく。



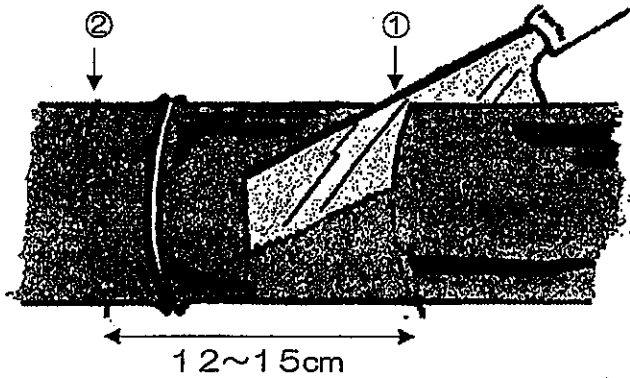
(注) 削りすぎて「くし」のようにならないようにしましょう。



つ  
く  
り  
方

2	コップ	製作時間 (片付け等含む)	1.5~2時間 ※人数等により変わります。
		材料費 (一人当たり)	60円
活動可能な人数	120人	材料 (一人当たり)	竹 (1節)
準備物	使用する工具 (貸出分)	小刀、のこぎり、さしがね、工作台	
	団体で準備するもの	紙やすり	

(1) のこぎりで①、②の順に切る。

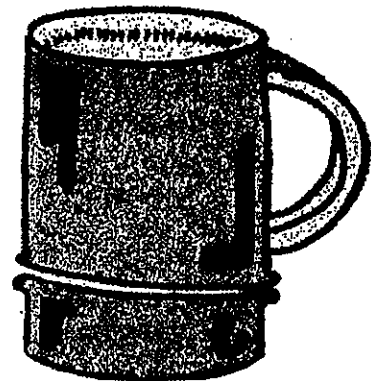
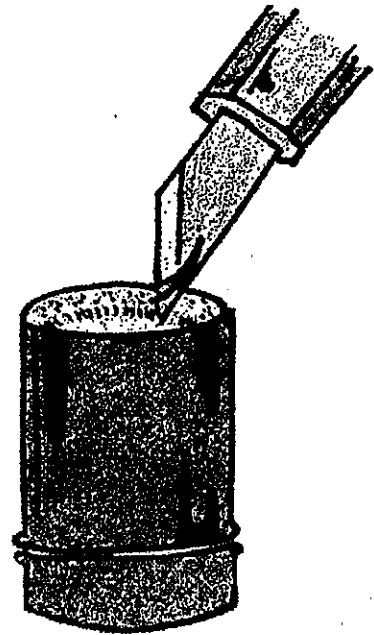


(注) 竹の太さによって長さは変えましょう。

(2) 飲み口の内側を削り、口当たりを良くする。

(3) 切り口を紙やすりでみがく。

(4) 竹の輪を半分に切り、ボンドでつけて「とって」にしてもいい。



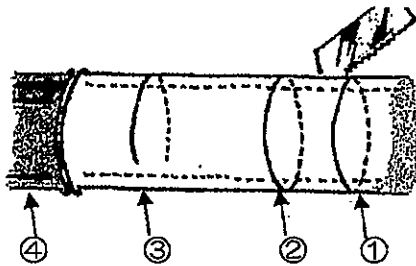
つ  
く  
り  
方



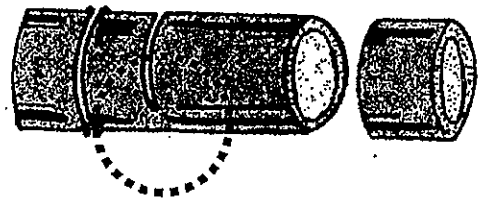
3	けん玉	製作時間 (片付け等含む)	2~3時間 ※人数等により変わります。
		材料費 (一人当たり)	60円
活動可能な人数	120人	材料 (一人当たり)	竹 (1節)
準備物	使用する工具 (貸出分)	小刀、のこぎり、きり、なた、木づち、工作台	
	団体で準備するもの	たこ糸、紙やすり	

つ  
く  
り  
方

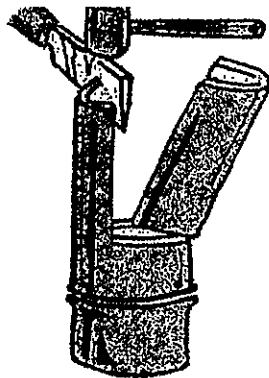
(1) のこぎりで①、②、③、④の順に切る。



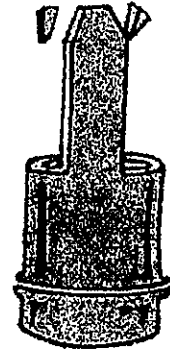
(注) ③は、下まで切ってはいけません。



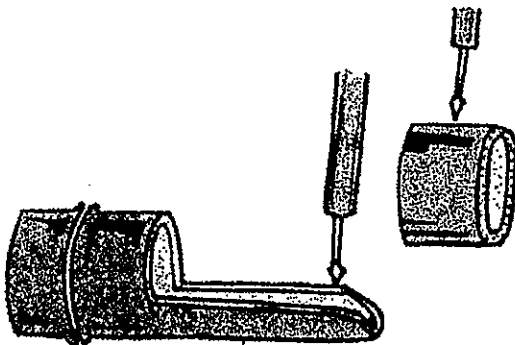
(2) なたをあてて、木づちでなたをたたき、のこぎりで切ったところまで割る。



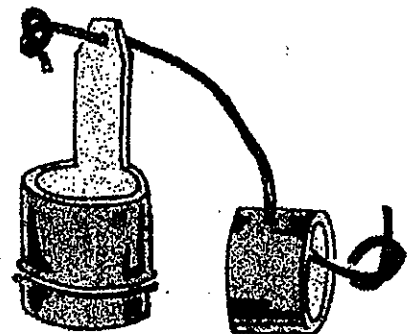
(3) はしを切り落とす。



(4) きりで穴をあける。



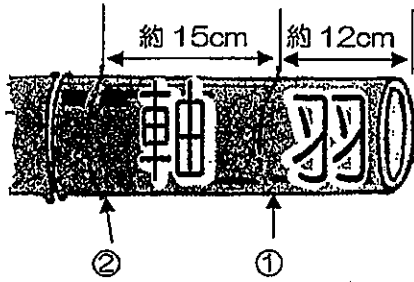
(5) 切り口を紙やすりでみがき、40cmくらいのたこ糸を通す。



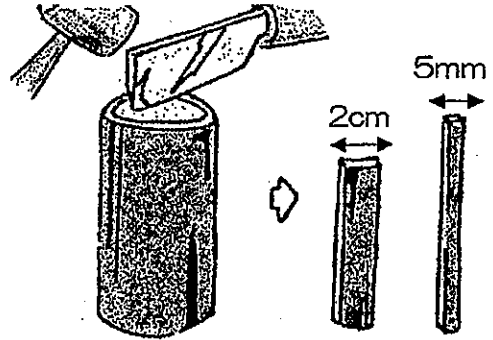
(注) たこ糸は団体で用意してください。

4	竹とんぼ	製作時間 (片付け等含む)	2~3時間 ※人数等により変わります。
		材料費 (一人当たり)	20円
活動可能な人数	120人	材料 (一人当たり)	竹
準備物	使用する工具 (貸出分)	小刀、のこぎり、きり、なた、木づち、さしがね、工作台	
	団地で準備するもの	紙やすり	

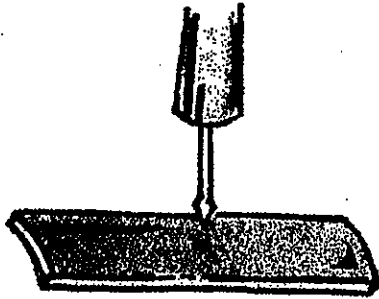
(1) のこぎりで①、②の順に切る。



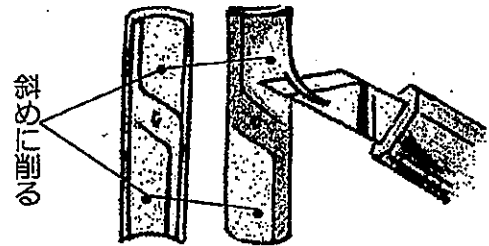
(2) 竹を割り、さらに羽用は、幅2cm、軸用は7mmに割る。



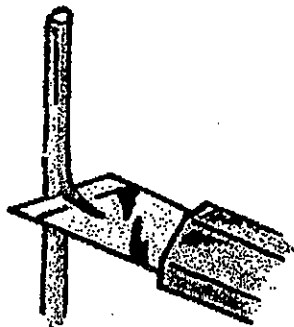
(3) さしがねで中心を測り、きりで穴をあける。



(4) 小刀を寝かせ、少しずつ薄く削っていく。



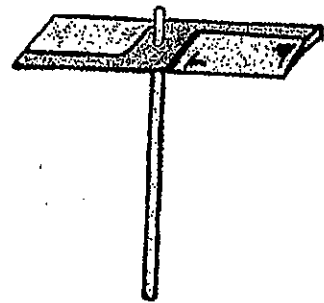
(5) 軸にする竹を、丸く削っていき、軸、羽を紙やすりでみがく。



裏 表

(注) 左利き用は、逆を削りましょう。

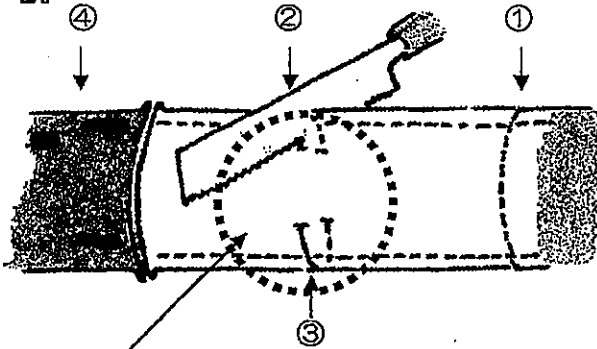
(6) 羽に軸をさしこむ。



つ  
く  
り  
方

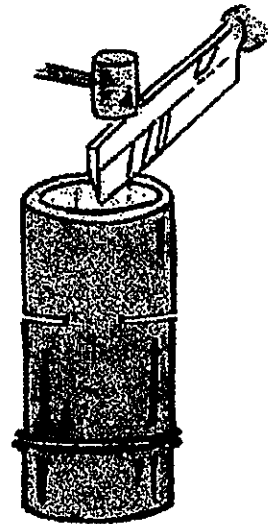
5	一輪ざし	製作時間 (片付け等含む)	2~3時間 ※人数等により変わります。
		材料費 (一人当たり)	60円
活動可能な人数	120人	材料 (一人当たり)	竹 (1節)
準備物	使用する工具 (貸出分)	小刀、のこぎり、きり、なた、木づち、工作台	
	団体で準備するもの	紙やすり	

(1) のこぎりで①、②、③、④の順に切る。

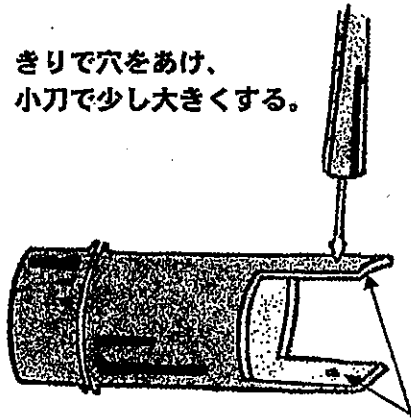


(注) ②、③は、下まで切ってはいけません。

(2) なたをあてて、木づちでなたをたたき、のこぎりで切ったところまで割る。

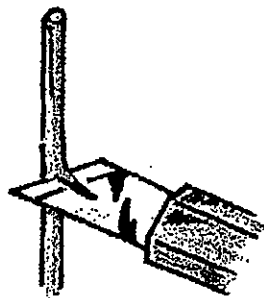


(3) きりで穴をあけ、小刀で少し大きくする。

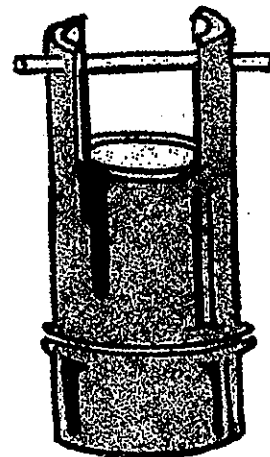


(注) 2か所開けましょう。

(4) 余った竹で、持ち手を作り、本体とともに切り口をやすりでみがく。



(5) 本体に持ち手をつける。

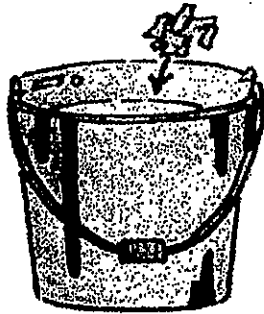


つ  
く  
り  
方

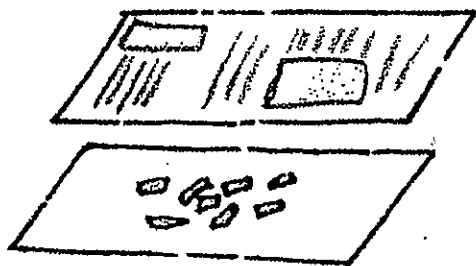
6	しおり	製作時間（片付け等含む）	1～1.5時間 ※人数等により変わります。
		材料費（一人当たり）	10円
活動可能な人数	100人	材料（一人当たり）	ラミネートフィルム （1枚）
準備物	使用する工具（貸出分）	ラミネーター（機器）、スタンプ、スタンプ台	
	団体で準備するもの	台紙（名刺大）、筆記具、はさむもの（海藻や草花）、つまようじ	

つ  
く  
り  
方

(1) 海藻は、よく水洗いする。



(2) 十分広げて新聞紙にはさみ、一晩かわかす。



(3) 台紙には、記念になることを書こう。



(表)



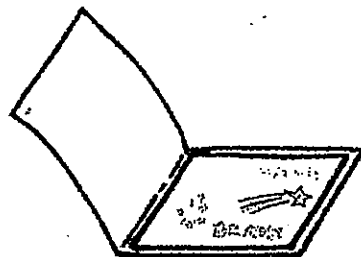
(裏)



(※) 自然の家のスタンプを押すこともできます。

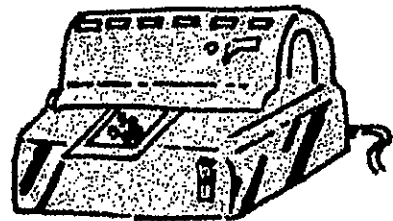
(注) 台紙は、団体で用意してください。

(4) 海藻を少しとり、つまようじなどで広げながらシートにはさんでいく。



(注) つまようじは、団体で用意してください。

(5) 閉じている側から機器に差し込む。



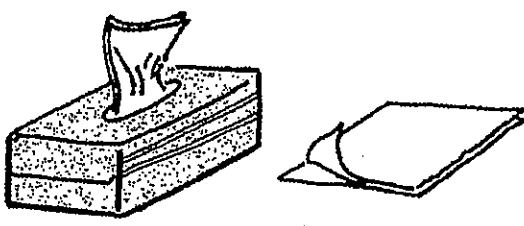
(注) あまり厚いものをはさむと、機器が止まる場合があります。

(※) 海藻を使って絵を描く等、素敵なしおりを作りましょう。木の葉やクローバー等でもできます。

<b>7 ティッシュアート</b>		製作時間 (片付け等含む)	1~1.5時間 ※人数等により変わります。
		材料費 (一人当たり)	30円
活動可能な人数	100人	材料 (一人当たり)	ラミネートフィルム (1枚)
準備物	使用する工具 (貸出分)	ラミネーター (機器)	
	団体に準備するもの	ティッシュ、マジック、新聞紙	


  

**(1) ティッシュを出し、1枚ずつにはがす。**



(注) 破れないように、ゆっくりとはがしましょう。

**(2) 4つ折りに (2回折る) する。**

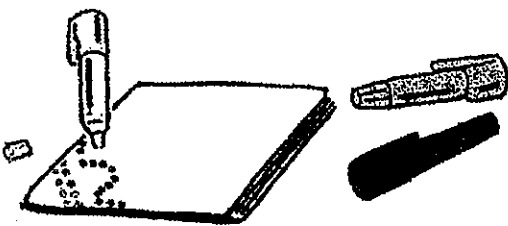


半分に折る      もう半分に折る

(注) ティッシュ、マジックは、団体に用意してください。

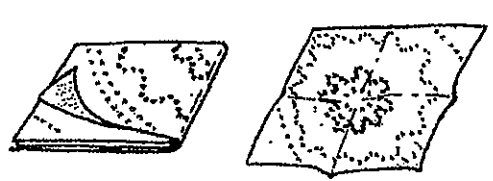
  

**(3) ティッシュの中心になるところから、マジックで優しく点をうっていく。**



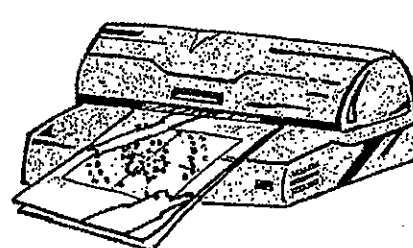
(注) 新聞紙をひきましょう。

**(4) 破れないように開き、優しくしわを伸ばす。**

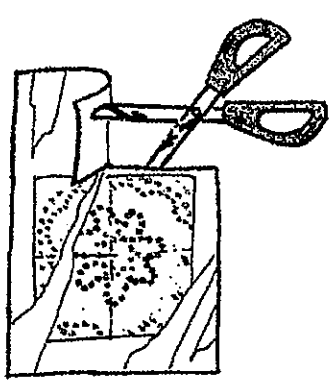


**(5) フィルムにはさみ、閉じている側から機器に差し込む。**



**(6) いらぬ部分を切り取る。**



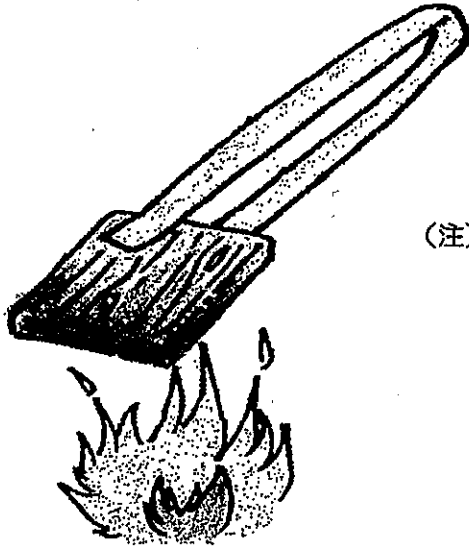
  

(※) 点ではなく、絵を書くこともできます。  
フィルムの空いた部分に、名前のカードや作品のテーマを書いたものを入れることもできます。

8	焼き杉	製作時間（片付け等含む）	2～3時間 ※人数等により変わります。
		材料費（一人当たり）	140円
活動可能な人数	100人	材料（一人当たり）	杉板（1枚）
準備物	使用する工具（貸出分）	電気ドリル（機器）	
	団体で準備するもの	軍手、たわし、新聞紙、絵の具、筆、ひも	

つ  
く  
り  
方

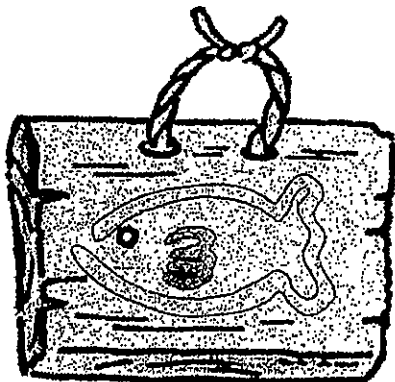
(1) 火ばさみで板をはさみ  
両面とサイドを焼く。  
やけどに注意しましょう。



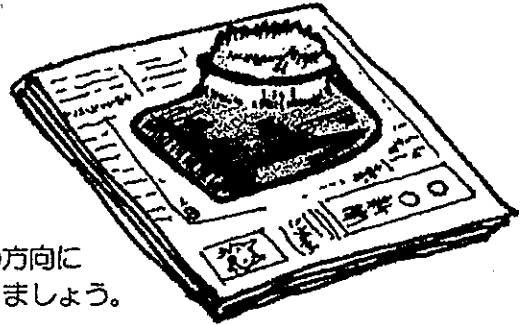
(注) 焼き過ぎないように  
注意しましょう。

(4) 板の表面に、絵の具等で  
絵や文字を書く。

(5) 上の方にドリルで穴を2か所開け、  
ひも等で結ぶ。



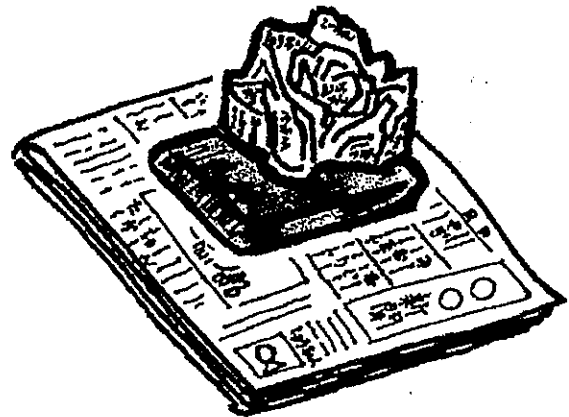
(2) 新聞紙の上に乗せて、焼いた  
場所をたわしでこすり、炭を落とす。



(注) 木目の方向に  
こすりましょう。

(注) 新聞紙に火がつかないように  
急いでやりましょう。

(3) 新聞紙でみがき、つやを出す。

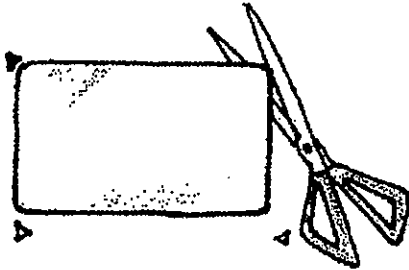


(注) 絵具・筆・ひもは、  
団体で用意してください。

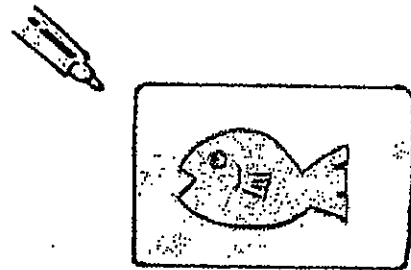
(※) 絵具は、ポスカやアクリル絵具が適しています。

9	プラ板	製作時間 (片付け等含む)	1~1.5時間 ※人数等により変わります。
		材料費 (一人当たり)	50円
活動可能な人数	100人	材料 (一人当たり)	プラ板 (クリアー・1枚)
準備物	使用する工具 (貸出分)	オープントースター (機器)、はさみ、パンチ、ピンセット、板	
	団体で準備するもの	油性マジック、アルミホイル、本、ストラップ等の部品	

(1) プラ板の端をはさみで丸く切る。



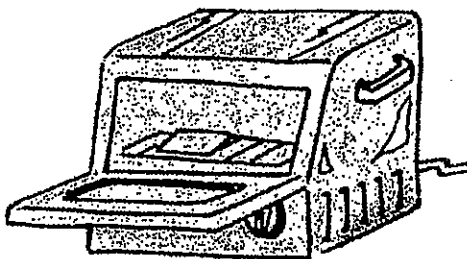
(2) 油性マジックを使って  
絵や文字などを書き込む。



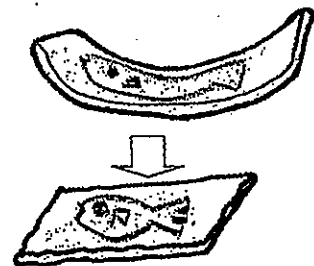
(※) ストラップ、キーホルダーにする場合は、  
事前にパンチで穴を開けましょう。  
ストラップ等の部品は、団体で用意して  
ください。

(注) 油性マジックは、  
団体で用意してください。

(3) オープントースターの中に敷いた  
アルミホイルの上に乗せて熱する。

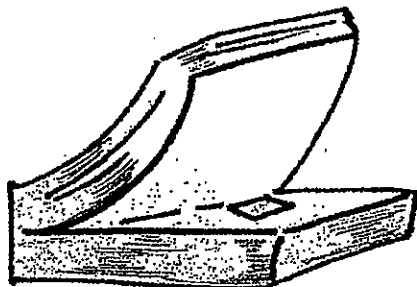


(4) 最初にそり上がり、次に小さく  
縮んで平たくなったら取り出す。



(注) 書いた面を上にしませう。  
アルミホイルは、しわしわにして使用します。

(5) 本や、板にはさんで形を整える。



(6) 取り出したら完成。



つ  
く  
り  
方

# バウムクーヘンづくり



カール・ユーハイム氏

第一次世界大戦中に、似島の検疫所にはドイツ人の捕虜収容所が設けられました。大戦で進軍した日本軍は、ドイツの租借地であった中国・青島(チンタオ)に攻め入り、多くのドイツ人を捕虜として日本に連れて帰ることとなり、似島にも収容所が開設されたのです。

その捕虜の中に、青島で菓子店を営んでいたカール・ユーハイム氏がありました。彼は捕虜としての滞在期間中に、広島県物産陳列館(現在の原爆ドーム)で開催されたドイツ人捕虜による作品展示即売会に参加し(1919年)、そこで日本ではじめてバウムクーヘンを紹介し、大変好評を博したそうです。

自然の家では、歴史をふまえて、似島の魅力をPRする目的から、バウムクーヘンづくり体験を実施しています。

- |   |        |   |
|---|--------|---|
| 1 | 対 象    | どなたでも(小学生未満は保護者同伴) ※利用目的によっては指導職員がつけられない場合がありますので、 <u>ご相談ください。</u>  |
| 2 | 所要時間   | 約2時間半~3時間(歴史説明・片付け等含む)<br>・生地づくり・・・40分~50分<br>・焼き・・・・・・40分~50分  |
| 3 | 実施場所   | 自然の家炊飯場   |
| 4 | 定 員    | 8人以上(60人程度まで)   |
| 5 | 費 用    | ① 材料費<br>自然の家に材料(薄力粉・砂糖・バター・卵)を注文する場合は、1人230円です(8人分の材料から注文ができます)。<br>※団体で持参することもできます。<br>② 炭代<br>原則ご持参ください。似島にある商店にて注文することもできます。詳しくは自然の家までお問い合わせください。<br><u>炭の火起こしを職員に依頼する場合は5コンロにつき1~2本のカセットボンベをご持参ください。</u> |
| 6 | 準 備 物  | ① 人数分の材料(薄力粉・砂糖・バター・卵)<br>② 炭(1班(6人~8人)4kg~6kg)<br>③ 調理器具(施設より貸出可)<br>④ コンロ(1班1台 施設より貸出可)   |
| 7 | 実施方法   | ① 準備・・・・・・貸出物品を炊飯場で受け取ってください。<br>② 歴史説明など・・・開始前に、職員から歴史説明、作り方の説明、実施上の注意があります。<br>③ 調理開始・・・・・・班に分かれて調理してください。<br>④ 焼き作業・・・・・・職員から、焼き方の説明があります。<br>⑤ 片付け・・・・・・貸出物品を洗って、炊飯場で返却してください。                            |
| 8 | 実施上の注意 | ① 食中毒予防のため、手洗いを十分に行ってください。また、調理器具なども念のため十分に洗ってください。<br>② 焼き作業では、コンロが大変熱くなっていますので、やけどには十分に注意してください。  |

※ 詳細は施設までお問い合わせください。





# パウロウーヘン作り

材料（薄力粉・砂糖・バター・卵）は自然の家で注文できます（1人分230円）。

## 材料

	(6~8人分)	(1人分)
薄力粉	300g	<40g>
砂糖	300g	<40g>
バター	270g	<35g>
卵	12個	<1.5個>
※お好みで	ココア	
	シナモン	
	コーヒーなど	

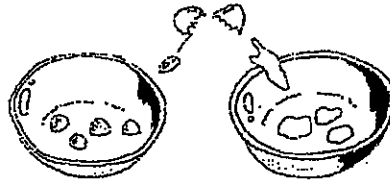
## 器具

- (1グループ)
- ボウル 2個
  - 泡立て器 1個
  - おたま 1個
  - しゃもじ(ゴムベラ) 1個
  - 包丁、まな板、平皿、鍋敷き(各1)
  - バーベキューコンロ(1)
  - 竹の棒(1)
  - ※炭4kg~6kg/コンロ(持参)

## 作り方

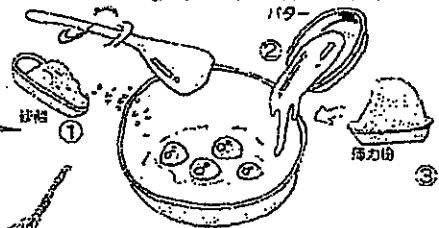
※炭、トッピング(ココアなど)の材料は団体で用意してください。

1. 卵黄、卵白をボウルに分けて入れる。



2. 溶きほぐした卵黄の入ったボウルに①砂糖、②溶かしたバター、③薄力粉の順に入れ、ペースト状になるまで混ぜ合わせる。

一度に全部を入れるのではなく、少しずついれると混ぜやすい。

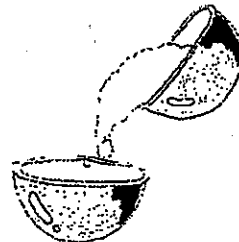


3. 卵白はよく泡立て、メレンゲを作る。

「つ」がたつまでがんばって!



4. 3を2に入れ混ぜる。お好みでココアやシナモンを加えてもよい。



5. 竹を温めておき、中央に4の生地を、竹を回しながら塗りつける。

生地はボウルの上でつけて、たれなくなったら炭火の上にもっていく。



6. 炭火の上に竹をかざして回しながら焼き、生地がきつね色になったら、次の生地をつけていく。生地がなくなるまで5・6をくり返す。



7. 竹から抜いてできあがり!

竹を回す人、生地を塗る人の気持ちひとつに!

両端を取り除くと、さらに抜けやすくなるよ



切れ目を入れるか、端を落として、「トントン」したら抜けるよ!

# 平和学習

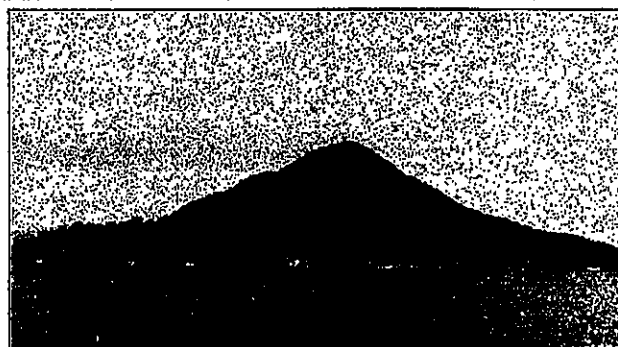
明治時代に、似島には第一検疫所（現似島学園）と第二検疫所（現似島臨海少年自然の家）が設けられました。明治から終戦までの長きにわたり、将兵や武器の検疫が行われたほか、原子爆弾が投下された際には臨時野戦病院として、約1万人の被爆者を収容・救護した歴史があります。

自然の家では、歴史を風化させることなく後世へ語り継ぐことを目的として、平和学習を実施しています。①スライドまたは動画による学習、②遺構めぐり（自然の家周辺の遺構等説明）、③遺構めぐり（フィールドワーク）④慰霊碑参拝、⑤慰霊の広場（平和花だん）整備 のプログラムから、活動の目的に応じて選択することができます。

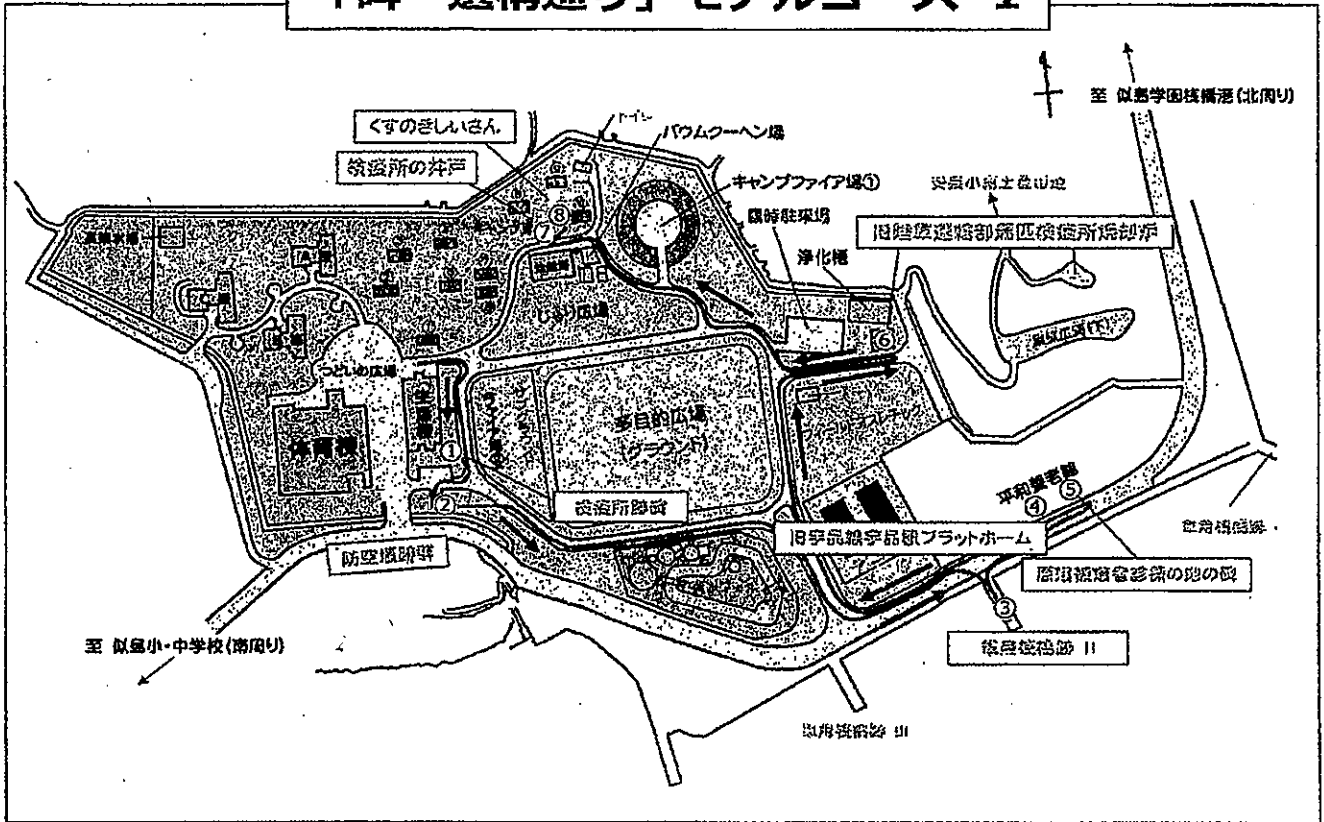
- 1 対象 どなたでも（小学生未満は保護者同伴）
- 2 所要時間 ① スライドまたはDVDによる学習・・・約1時間～1時間30分  
② 遺構めぐり（遺構等説明）・・・約1時間  
③ 遺構めぐり（『平和学習テキスト』と『ワークシート』を活用）約1時間30分  
※③はフィールドワークによる平和学習・遺構巡りです。  
④ 慰霊碑参拝・・・約1時間  
⑤ 慰霊の広場（平和花だん）整備・・・約1時間30分～2時間  
※通常は①と②のセットで実施します。（約2時間30分）
- 3 実施場所 ① スライドまたはDVDによる学習・・・研修室  
② 遺構めぐり（遺構等説明）・・・自然の家周辺（似島遺構地図Ⅰ参照）  
③ 遺構めぐり・・・自然の家周辺（似島遺構地図Ⅰ参照）  
（『平和学習テキスト』と『ワークシート』を活用）  
④ 慰霊碑参拝・・・似島中学校横（似島遺構地図Ⅱ参照）  
⑤ 慰霊の広場（平和花だん）整備・・・慰霊碑横自然の家とその周辺
- 4 定員 100人程度
- 5 費用 無料
- 6 準備物 筆記用具
- 7 実施方法 実施内容により異なるため省略
- 8 実施上の注意 ① 一般道路を通る時は、通行車両に十分注意してください。  
② 個人の所有物や畑等には立ち入らないでください。  
③ 地域の方々に出会ったら、元気よく挨拶をしましょう。

※ 詳細は施設までお問い合わせください。

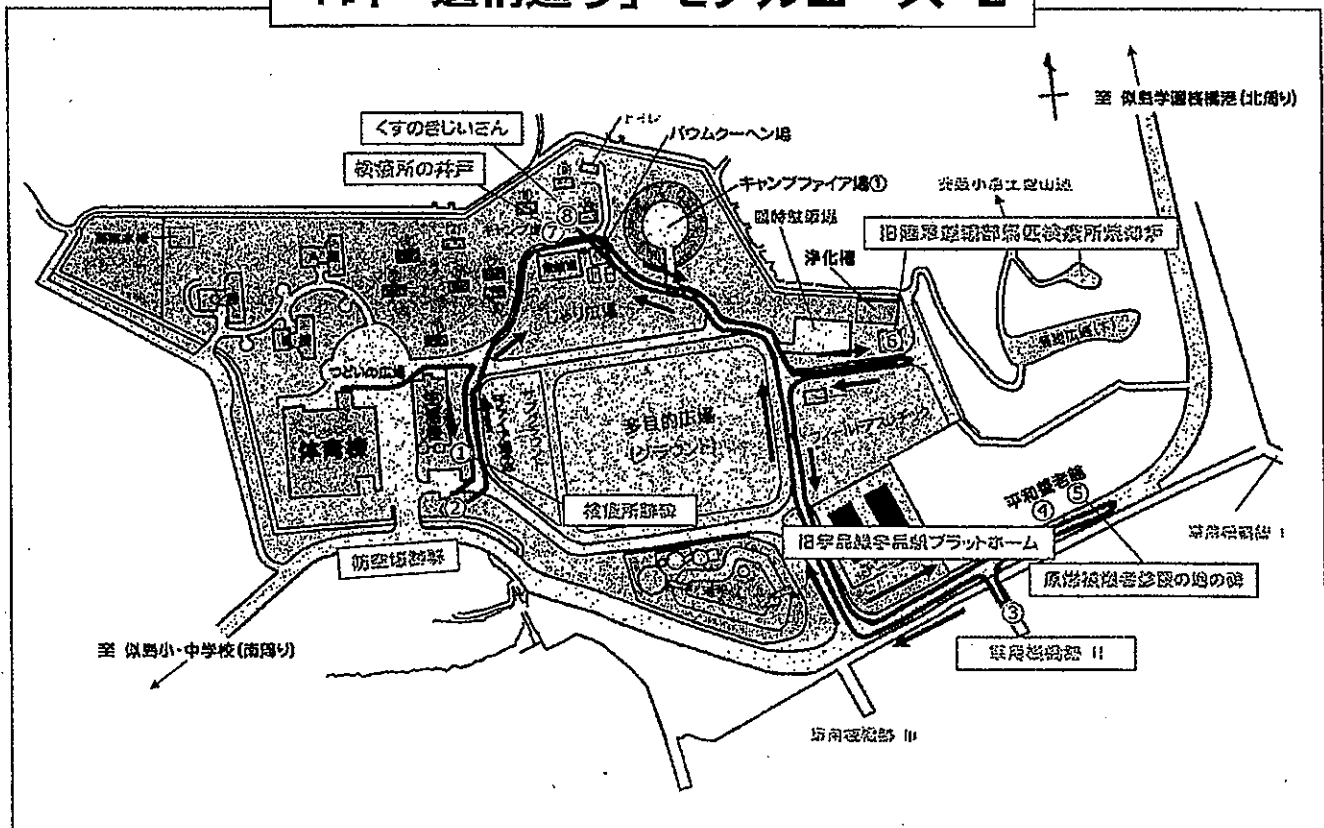
平和学習資料「似島の遺構」がホームページに掲載してあります（ダウンロードできます。）。



「碑・遺構巡り」モデルコース 1



「碑・遺構巡り」モデルコース 2



# 似島の遺構

